

瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会

サイクリング しまなみ 2026

実 施 計 画 書

令和8年2月



サイクリングしまなみ実行委員会

INDEX

I 全体概要			III 併催イベント計画		
1 大会概要	1.1大会要項	3	1 会場イベント	1.1実施概要	83
	1.2大会の特長	5	2 沿道応援計画	2.1実施概要	85
	1.3大会の目的とテーマ	6	3 しなみサイクリング サミット(仮称)	3.1実施概要	86
	1.4大会ロゴ	7			
2 全体スケジュール	2.1大会スケジュール	8	IV 誘客・広報計画		
3 サイクリングコース	3.1全体マップ	9	1 誘客計画	1.1宿泊計画	88
	3.2コースマップ	10		1.2ツアー斡旋計画	88
	3.3参加者通行予測	18		1.3レンタサイクル	88
	3.4各ポイント先頭・最後尾 通過予定表	20	2 広報計画	2.1広報・宣伝計画	89
4 実行委員会組織	4.1実行委員会組織図	21		2.2広報スケジュール	90
			3 制作物計画	3.1制作物計画	91
			4 協賛計画	4.1基本方針	92
				4.2協賛特典	92
II 大会運営計画			V 大会準備スケジュール		
1 大会規約(一部抜粋)	1.1参加資格	23			94
	1.2車種規定	23			
	1.3走行ルール	24			
2 参加者募集計画	2.1参加者募集フロー	25			
	2.2参加枠の設定	26			
	2.3募集活動	26			
	2.4参加申込受付	27			
3 参加者フロー	3.1参加者フロー	28			
4 受付計画	4.1受付方法	29			
5 駐車場計画	5.1駐車場設置計画	30			
6 スタート計画	6.1スタート方式・スケジュール	32			
	6.2尾道(向島運動公園・向島IC)スタート	33			
	6.3今治(今治新都市第1地区・今治IC) スタート	36			
	6.4来島海峡SAスタート	39			
7 フィニッシュ計画	7.1基本方針	40			
	7.2フィニッシュ会場計画	40			
8 安全対策計画	8.1高速道路本線の安全対策	42			
	8.2一般道路の安全対策	48			
9 参加者走行管理計画	9.1基本方針	51			
	9.2走行管理方法	52			
10救護・医療計画	10.1基本方針	54			
	10.2救護体制	54			
	10.3傷病者対応	55			
	10.4救急車両対応	55			
11エイドステーション計画	11.1基本方針	56			
	11.2エイドステーション会場計画	56			
12関門設置計画	12.1基本方針	63			
	12.2関門計画	63			
	12.3収容計画	64			
13交通規制計画	13.1基本方針	65			
	13.2規制エリア及び規制時間	65			
	13.3交通規制告知計画	66			
	13.4代替交通計画	69			
14輸送計画	14.1基本方針	70			
	14.2参加者輸送	70			
	14.3手荷物輸送	72			
	14.4スタッフ輸送	72			
15警備計画	15.1基本方針	73			
	15.2緊急車両通行計画(高速道路本線)	74			
16ボランティア計画	16.1基本方針	75			
	16.2ボランティア業務内容	75			
	16.3ボランティア募集スケジュール	75			
17緊急時対応計画	17.1大会の中止・中断の判断	76			
	17.2緊急時対応	77			
	17.3保険等の損害対策	78			
18運営情報管理計画	18.1基本方針	79			
	18.2通信連絡系統	79			
	18.3通信手段・位置情報管理システム	79			
19実施運営体制	19.1運営体制	80			
	19.2人員配置計画	81			

I 全体概要



1 大会概要



1.1 大会要項

(1)大会概要

名 称：瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会「サイクリングしまなみ2026」
主 催：サイクリングしまなみ実行委員会<広島県・愛媛県・尾道市・今治市・上島町及び関係団体等で構成>
後 援：調整中
協 賛：調整中
期 日：[受付]2026年10月24日(土)/[大会]2026年10月25日(日)
[スタート]尾道(向島) 午前7時37分～、今治 午前8時15分～/[フィニッシュ(制限時刻)]午後5時00分
開催場所：瀬戸内しまなみ海道及びその周辺地域
[スタート会場]西瀬戸自動車道今治IC・来島海峡SA<今治市>、西瀬戸自動車道向島IC<尾道市>
[フィニッシュ会場]広小路<今治市>、向島運動公園<尾道市>、弓削港<上島町>
スタイル：レースではなく、サイクリングを楽しむ走行イベント
エントリー方法：エントリー専用WEBサイト
参加定員：7,000名
募集期間：2026年4月13日(月) 開始予定

(2)コース内容・参加料

コース (距離)	コース(詳細)				定員	使 用 自 転 車	参加料	
	スタート	本線利用区間	一般道区間	フィニッシュ			一般	小中学生
A IMABARI 70 尾道(向島)⇒今治 <片道>約70km	向島IC	向島IC→大三島IC (約23km)	大三島→(大三島橋)→伯方島→ (伯方・大島大橋)→大島→ (来島海峡大橋)→今治市内	広小路	1,250名	スポーツ	22,000円	-
B INNOSHIMA 70 尾道(向島) ⇄上島(岩城島) <往復>約70km		向島IC→生口島南IC 手前管理道 (約17km)	生口島→(フェリー)→岩城島→ (岩城橋)→生名島→(フェリー)→因島→ (因島大橋)→向島	向島運動公園	250名		19,000円	-
C AROUND OMISHIMA 100 今治⇄大三島周遊 <往復>約100km	今治IC	今治IC→大三島IC (約30km)	大三島周遊→(大三島橋)→伯方島→ (伯方・大島大橋)→大島→ (来島海峡大橋)→今治市内	広小路	1,250名	スポーツ	20,000円	-
D COMPLETE SHIMANAMI 140 今治⇄尾道(向島) <往復>約140km		今治IC→因島南IC (約43km)	因島→(因島大橋)→向島→ (因島大橋)→因島→(生口橋)→ 生口島→(多々羅大橋)→ 大三島→(大三島橋)→伯方島→ (伯方・大島大橋)→大島→ (来島海峡大橋)→今治市内		500名		28,000円	-
E ONOMICHI 65 今治⇄尾道(向島) <片道>約65km			因島→(因島大橋)→向島	向島運動公園	1,000名		22,000円	-
F OMISHIMA 70 今治⇄大三島折返 <往復>約70km		今治IC→大三島IC (約30km)	大三島折返→(大三島橋)→伯方島→ (伯方・大島大橋)→大島→ (来島海峡大橋)→今治市内	広小路	1,250名		18,000円	-
G YUMESHIMA 75 今治⇄上島(弓削島) <片道>約75km	来島海峡SA	今治IC→生口島南IC (約35km)	生口島→(フェリー)→岩城島→ (岩城橋)→生名島→(生名橋)→佐島→ (弓削大橋)→弓削島	弓削港	500名	スポーツ 軽快車 タンデム	19,000円	-
H OSHIMA 30 今治⇄大島 <往復>約30km		来島海峡SA→大島BS (約12km)	大島→(来島海峡大橋)→今治市内	広小路	1,000名		8,000円	4,000円

※一般エントリー(抽選)に加えて、プレミアムエントリー(特典<地元特産品、特製ジャージ等>付)、ふるさと納税エントリー(A・E・Gコース)を設定し、先着順の先行受付を行う。
プレミアムエントリー参加料は、各コース参加料に24,000円を加えた金額、ふるさと納税エントリー参加料は各コース75,000円。
なお、参加料は消費税・保険料を含む。

■参加資格

【全コース共通】

- ・健康で、各コースを制限時間内に完走できる脚力を有し、自己の責任及び判断により安全な走行が可能な者。
- ・実行委員会の定めた大会規約及び車種規定を遵守すること。

【A～Gコース】

- ・高校生以上で、自己の責任で走行可能であり、出走コースと同距離程度のサイクリングイベント等で完走経験がある者。

【Hコース】

- ・小学校4年生以上で、自己の責任で走行可能である者。ただし、小・中学生は保護者・引率者などの責任者の同伴が必要。
(事前提出の誓約書に保護者・引率者の承諾を明記)

(2) メインビジュアル



【コンセプト】

愛媛県と広島県をつなぐ「多々羅大橋」を中心に据え、瀬戸内海の多島美や、穏やかな海を感じられる構図とした。沿道には村上水軍や江戸時代の町民をイメージした観衆を配置し、その声援を受けたサイクリストが、高速道路本線上を颯爽と走行する様子を描いているほか、サイクリストをあえて後ろ姿で表現し、後に続いて走りたくなる気持ちを誘引している。国内外から多くのサイクリストを迎える国際大会への期待感を醸成し、多くのサイクリストの心に響くようなビジュアルとした。

1.2 大会の特長

(1) 高速道路を規制して行う日本最大規模のサイクリング大会

瀬戸内の島々をつなぐ個性豊かな9本の橋を含むコースを舞台に、開放感あふれるサイクリングを楽しむことができます。その全てのコースに、普段自転車では走れない西瀬戸自動車道(瀬戸内しまなみ海道)本線の走行が含まれています。

供用中の高速道路本線を走ることができる日本最大規模のサイクリング大会、それが「サイクリングしまなみ2026」です。

(2) 世界有数のサイクリングコースを使った国際的なファンライドイベント

国が指定した「ナショナルサイクルルート」の一つであり、日本を代表し世界に誇れるサイクリングコースである「瀬戸内しまなみ海道」に、国内外から7,000名の参加者を迎えて開催する国際サイクリング大会です。

穏やかな海に、たくさんの小さな島々が浮かぶ風光明媚な瀬戸内海を駆け抜けるサイクリングロードを「サイクリストの聖地」として広く世界に発信します。

(3) 瀬戸内しまなみ海道の魅力を堪能できるコース設定

瀬戸内海国立公園のほぼ中央に位置する「瀬戸内しまなみ海道」の絶景や自然美を堪能できる多彩なコースが「サイクリングしまなみ2026」の大きな魅力です。

その「瀬戸内しまなみ海道」を往復するロングコース、今治・尾道間を爽快に駆け抜けるミドルコース、サイクリングとあわせフェリーで海を渡るコース、初心者やファミリーも楽しめるエンジョイコースなど、技量や嗜好にあわせた8コースを用意しています。

(4) 瀬戸内の島ならではの「おもてなし」

刻々と変わる潮流や多島美など瀬戸内ならではの自然の中で、島ごとに受け継がれてきた人々の営みや歴史・文化、穏やかな気候と豊かな自然に育まれたおいしい食べ物。そして何よりも島に暮らす人々の温かい心を、エイドステーションでのふれあいや沿道からの応援で感じてもらえる、瀬戸内の島ならではの「おもてなし」を行います。

イベントの国際対応について

本大会は、国際大会として世界各国からの参加者を受け入れるため、参加者募集から大会運営までの様々な国際対応を行います。

■主な施策

- ・大会公式HPの多言語化(日本語・英語・中国語(繁体字/簡体字)・韓国語に対応予定)
- ・海外ツアー枠の設定及びエントリー専用WEBサイトの多言語化(日本語・英語)
- ・受付会場及び当日の会場に外国人参加者に対応する総合インフォメーションを設置(通訳の配置)
- ・案内サインや誘導看板などの表示を外国人参加者にもわかりやすいデザインに統一 など

1.3 大会の目的とテーマ

【 目的 】

物流道路、地域住民の生活道路、観光資源として多様な意義をもつ「瀬戸内しまなみ海道」のポテンシャルを活かして住民が誇れる国際イベントを開催することにより、サイクリングを通じた世界的な観光地を目指すとともに、地域活性化につなげる。

(1)地域の活性化

市民参加型スポーツイベントには、“参加する喜び”、“応援する楽しみ”、そして“支える誇り”という3つの要素があると言われています。

コース沿道やエイドステーションで、年齢も住むところも異なる多くのサイクリストに、地域住民やボランティアスタッフが声をかけ、励まし、その土地ならではのおもてなしを提供します。そうした交流の“楽しみ”や“誇り”の体験が、サイクリング大会のみならず、今後の自主イベントの開催やホスピタリティの向上など、地域の活性化に取り組む機運の醸成となることを目指します。

(2)自転車新文化の普及・定着

サイクリングは安全・安心なアクティビティとして世界的な人気の高まりを見せており、自転車が単に移動だけの手段にとどまらず、寛容、相互理解、尊重を促進し、持続可能な消費と生産を促進するための前向きなメッセージを伝えるアイテムであることが改めて認識されています。

このことは、サイクリングしまなみが掲げてきた、年齢に関係なく「健康・生きがい・友情」を育み、自転車に乗る楽しさを人々に広げていく「自転車新文化」に通じるものであり、これからも参加者をはじめ、広く地域住民にも発信し、更なる普及・定着を図ります。

(3)世界への情報発信

瀬戸内海の穏やかな海に、たくさんの小さな島々が浮かぶ景色。ドイツの有名な地理学者リヒトホーフェンも瀬戸内海の美しさを「優美な景色で、これ以上のものは世界のどこにもないであろう。将来この地方は、世界で最も魅力のある場所のひとつとして高い評価を勝ち得、沢山の人を引き寄せるであろう。」と絶賛しています。

この「瀬戸内しまなみ海道」の本線をサイクリストに開放して体感していただくことにより、魅力的な景観や地域資源とともに地元の自転車に対する熱意や愛着をアピールし、「サイクリストの聖地＝瀬戸内しまなみ海道」との評価を定着させることを目指します。

1.4 大会ロゴ

■大会シンボルロゴ



[デザイン意図]

「自転車に乗る人々」、「しまなみの柑橘、海、島に見える景色」、「橋」、「島々」それらの要素と文字を一体化させてひとつのシンボルマークとしている。

■サイクリングしまなみ2026大会ロゴ

サイクリングしまなみ 2026
CYCLING SHIMANAMI 2026

[デザイン意図]

「島々を自転車で巡る」を、曲線を活かした文字で表現。
スリット部分は、ホイールの回転をイメージしている。

2 全体スケジュール



2.1 大会スケジュール

10月24日(土) 受付・併催イベント等

時 間	サイクリングしまなみ2026	併催イベント 等
10:00	<div>参加者受付 [10:00~17:00]</div> <div>今治: みなと交流センター「はーぱりー」</div> <div>松山: 愛媛県庁</div> <div>尾道: しまなみ交流館「テアトロシェルネ」</div>	<div>会場イベント [10:00~17:00]</div> <div>今治: みなと交流センター「はーぱりー」</div> <div>尾道: しまなみ交流館「テアトロシェルネ」及び尾道駅前東御所緑地</div>
12:00		
14:00		
16:00		
18:00		
20:00		
	<div>しまなみサイクリングサミット (仮称) 今治: 市内ホテル 基調講演 パネルディスカッション レセプション [14:00~19:30]</div>	

10月25日(日) 大会当日

時間	サイクリングしまなみ2026	併催イベント 等
6:00	<div>サイクリング走行 [7:37~17:00]</div> <div>7:37~ 向島ICスタート</div> <div>8:15~ 今治ICスタート</div> <div>9:57~ 来島海峡SAスタート</div> <div>~15:45 向島運動公園フィニッシュ</div> <div>~16:00 弓削港フィニッシュ</div> <div>~17:00 広小路フィニッシュ</div>	<div>会場イベント</div> <div>今治: みなと交流センター 「はーぱりー」 [10:00~17:00]</div> <div>尾道: 向島運動公園 [10:00~17:00]</div> <div>上島: 弓削港 [13:00~16:00]</div>
7:00		
8:00		
9:00		
10:00		
11:00		
12:00		
13:00		
14:00		
15:00		
16:00		
17:00		



3 サイクリングコース

3.2 コースマップ

A コース 尾道(向島)⇒今治<片道>約70km

IMABARI 70

尾道発、瀬戸内海縦断の片道コース
～しまなみ海道を南へ、駆け抜ける～



※所定の時刻以降に生口島南IC手前管理道に到着した参加者は、当管理道からの高速本線退出に切替(点線箇所)

B コース 尾道(向島)⇄上島(岩城島)＜往復＞約70km

INNOSHIMA 70

尾道発、「しまなみ」と「ゆめしま」の5つの島を巡る往復コース
～尾道・上島の多島美を堪能する～



C コース 今治⇄大三島周遊＜往復＞約100km

AROUND OMISHIMA 100

走りごたえのあるロングコース
～島を巡り、島を駆ける～



D コース 今治⇄尾道(向島)＜往復＞約140km

COMPLETE SHIMANAMI 140

瀬戸内海縦断往復の最長コース
～しまなみ海道の魅力を満喫する～



E コース 今治⇒尾道(向島)＜片道＞約65km

ONOMICHI 65

今治発、瀬戸内海縦断の片道コース
～しまなみ海道を北へ、駆け抜ける～



※所定の時刻以降に生口島南ICに到着した参加者は、当ICからの高速本線退出に切替(点線箇所)

F コース 今治⇄大三島折返＜往復＞約70km

OMISHIMA 70 NEW

ステップアップにぴったりなミドルコース
～島を駆ける～



G コース 今治⇒上島(弓削島)＜片道＞約75km

YUMESHIMA 75

8つの島を巡る、島三昧のコース
～「しまなみ」と「ゆめしま」、2つの海道を巡る～



Hコース 今治⇄大島＜往復＞約30km

OSHIMA 30

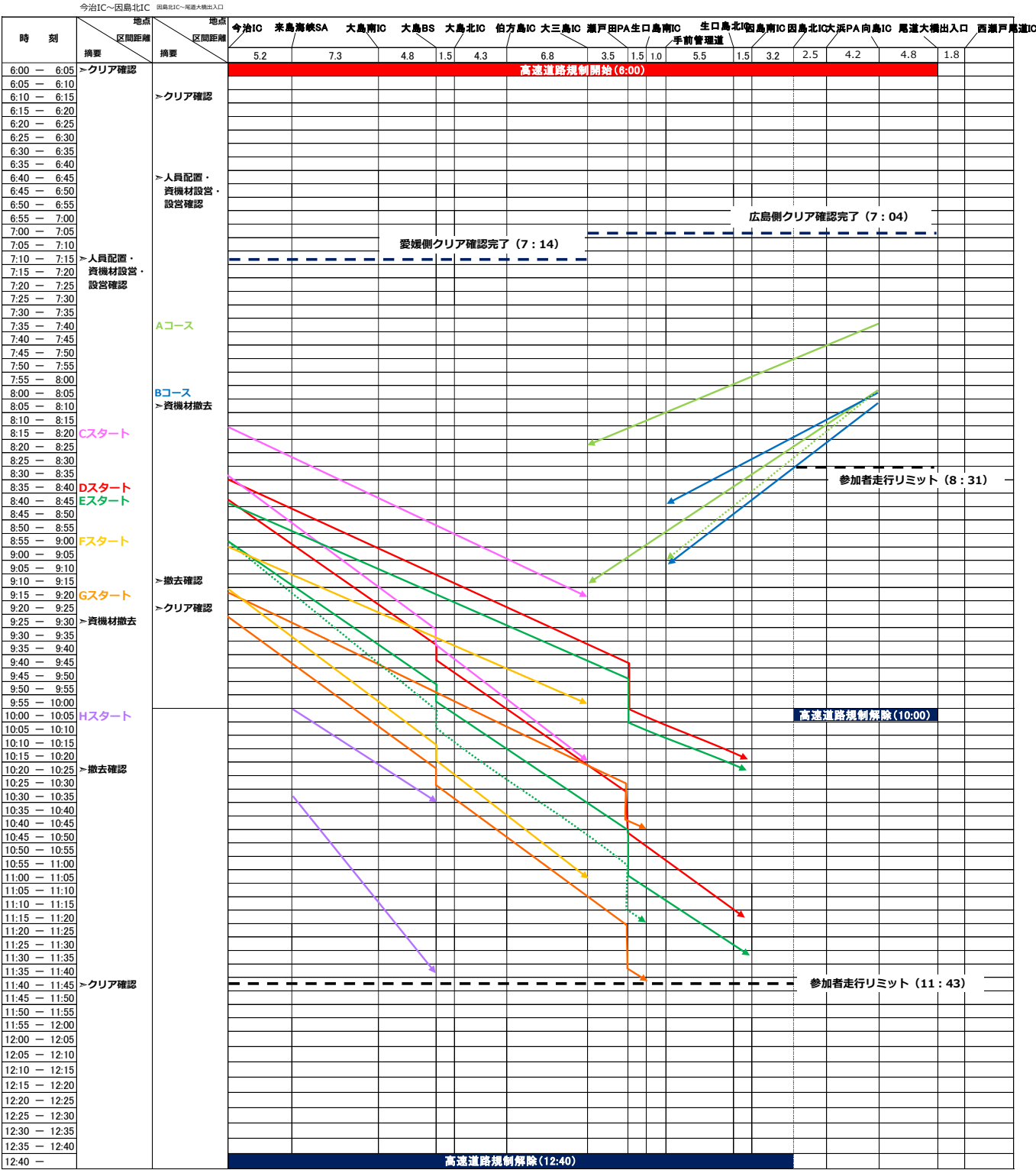
初心者・ファミリーも楽しめるエンジョイコース
～来島海峡大橋から、絶景を臨む～



3 サイクリングコース



3.3 参加者通行予測(高速道路本線)



※所定の時刻以降に生口島南IC手前管理道に到着したAコース参加者(点線)は、当管理道から高速を退出して、一般道を走行する。
※所定の時刻以降に生口島南ICに到着したEコース参加者(点線)は、当ICから高速を退出し、一般道を走行する。

3 サイクリングコース



3.3 参加者通行予測(一般道路)

島名	今治陸地		大島		伯方島			大三島				岩城島		生名島	弓削島	生口島			因島				向島			
ポイント	広小路	来島海峡大橋 今治陸地部側	来島海峡大橋 大島側	ASよしうみパラ公園	伯方・大島大橋 大島側	伯方・大島大橋 伯方島側	AS伯方S・Cパーク	大三島橋 伯方島側	大三島橋 大三島側	AS多々羅しまなみ公園	AS大三島支所	多々羅大橋 大三島側	小漕港	AS岩城港	立石港	弓削港	多々羅大橋 生口島側	AS瀬戸田サンセットビーチ	洲江港	生口橋 生口島側	生口橋 因島側	AS万田発酵	土生港	因島大橋 因島側	因島大橋 向島側	向島運動公園
8：00～																										
8：10～																										
8：20～																										
8：30～																										
8：40～																										
8：50～																										
9：00～																										
9：10～																										
9：20～																										
9：30～																										
9：40～																										
9：50～																										
10：00～																										
10：10～																										
10：20～																										
10：30～																										
10：40～																										
10：50～																										
11：00～																										
11：10～																										
11：20～																										
11：30～																										
11：40～																										
11：50～																										
12：00～																										
12：10～																										
12：20～																										
12：30～																										
12：40～																										
12：50～																										
13：00～																										
13：10～																										
13：20～																										
13：30～																										
13：40～																										
13：50～																										
14：00～																										
14：10～																										
14：20～																										
14：30～																										
14：40～																										
14：50～																										
15：00～																										
15：10～																										
15：20～																										
15：30～																										
15：40～																										
15：50～																										
16：00～																										
16：10～																										
16：20～																										
16：30～																										
16：40～																										
16：50～																										
17：00																										

3 サイクリングコース

3.4 各ポイント先頭・最後尾 通過予定表

A 尾道(向島)～今治<片道> 1,250人 65.4km

	区間距離	累計距離	休憩等	先頭	最後尾
				高速道 29 km/h	19 km/h
				一般道 25 km/h	8 km/h
				休憩等	
スタート(向島IC)	0.0	0.0		7:37	8:01
大浜PA	4.2	4.2		7:45	8:14
因島南IC	5.9	10.1		7:57	8:32
生口島南IC	8.1	18.2		8:14	8:58
大三島IC	4.5	22.7		8:23	9:12
AS・多々羅しまなみ公園	1.3	24.0	0:10	8:27	9:32
AS・伯方S・Cパーク	9.5	33.5	0:10	8:59	10:53
AS・よしうみバラ公園	13.1	46.6	0:10	9:40	12:41
フィニッシュ(広小路)	18.8	65.4		10:35	15:02

E 今治～尾道(向島)<片道> 1,000名 63km

	区間距離	累計距離	休憩等	先頭	最後尾
				高速道 29 km/h	19 km/h
				一般道 23 km/h	10 km/h
				休憩等	
スタート(今治IC)	0.0	0.0		8:43	8:58
大島南IC	12.4	12.4		9:08	9:37
大島BS	4.8	17.2		9:18	9:57
伯方島IC	5.8	23.0		9:30	10:15
大三島IC	7.0	30.0		9:45	10:37
AS・瀬戸田PA	3.5	33.5	0:15	9:52	11:03
生口島南IC	1.2	34.7		10:09	11:07
因島南IC	8.0	42.7		10:29	11:39
AS・万田発祥	4.1	46.8	0:10	10:36	12:07
フィニッシュ(向島運動公園)	16.2	63.0		11:28	13:44

B 尾道(向島)～上島(岩城島)<往復> 250人 73.2km

	区間距離	累計距離	休憩等	先頭	最後尾
				高速道 24 km/h	17 km/h
				一般道 26 km/h	13 km/h
				休憩等	
スタート(向島IC)	0.0	0.0		8:02	8:06
大浜PA	4.2	4.2		8:12	8:20
因島南IC	5.9	10.1		8:27	8:41
生口島南IC手前管理道	6.7	16.8		8:44	9:05
AS・瀬戸田サンセットビーチ	6.4	23.2	0:10	8:58	9:45
洲江港	12.4	35.6	0:05	9:37	10:50
小漕港	0.0	35.6	0:05	9:47	10:55
AS・岩城港	5.8	41.4	0:20	10:00	11:43
立石港	8.4	49.8	0:10	10:39	12:33
土生港	0.0	49.8	0:03	10:52	12:36
AS・万田発祥	7.2	57.0	0:10	11:09	13:20
フィニッシュ(向島運動公園)	16.2	73.2		11:56	14:38

F 今治～大三島折返<往復> 1,250人 72.7km

	区間距離	累計距離	休憩等	先頭	最後尾
				高速道 29 km/h	18 km/h
				一般道 23 km/h	10 km/h
				休憩等	
スタート(今治IC)	0.0	0.0		8:59	9:18
大島南IC	12.4	12.4		9:24	9:59
大島BS	4.8	17.2		9:34	10:20
伯方島IC	5.8	23.0		9:46	10:39
大三島IC	7.0	30.0		10:01	11:03
AS・多々羅しまなみ公園	1.3	31.3	0:10	10:04	11:20
AS・伯方S・Cパーク	9.5	40.8	0:10	10:39	12:27
AS・よしうみバラ公園	13.1	53.9	0:10	11:22	13:56
フィニッシュ(広小路)	18.8	72.7		12:21	15:49

C 今治～大三島周遊<往復> 1,250人 103.5km

	区間距離	累計距離	休憩等	先頭	最後尾
				高速道 29 km/h	18 km/h
				一般道 23 km/h	13 km/h
				休憩等	
スタート(今治IC)	0.0	0.0		8:15	8:34
大島南IC	12.4	12.4		8:40	9:15
大島BS	4.8	17.2		8:50	9:36
伯方島IC	5.8	23.0		9:02	9:55
大三島IC	7.0	30.0		9:17	10:19
AS・多々羅しまなみ公園	1.3	31.3	0:10	9:20	10:34
AS・大三島支所	15.6	46.9	0:20	10:10	12:06
AS・伯方S・Cパーク	24.7	71.6	0:10	11:35	14:10
AS・よしうみバラ公園	13.1	84.7	0:10	12:19	15:21
フィニッシュ(広小路)	18.8	103.5		13:17	16:47

G 今治～上島(弓削島)<片道> 500人 74.5km

	区間距離	累計距離	休憩等	先頭	最後尾
				高速道 29 km/h	18 km/h
				一般道 26 km/h	13 km/h
				休憩等	
スタート(今治IC)	0.0	0.0		9:19	9:26
大島南IC	12.4	12.4		9:44	10:07
大島BS	4.8	17.2		9:54	10:28
伯方島IC	5.8	23.0		10:06	10:47
大三島IC	7.0	30.0		10:21	11:11
AS・瀬戸田PA	3.5	33.5	0:15	10:28	11:37
生口島南IC	1.2	34.7		10:47	11:44
AS・瀬戸田サンセットビーチ	6.7	41.4	0:10	11:00	12:21
洲江港	12.4	53.8	0:05	11:39	13:23
小漕港	0.0	53.8	0:05	11:49	13:28
AS・岩城港	5.8	59.6	0:20	12:02	14:15
フィニッシュ(弓削港)	14.9	74.5		12:57	15:24

D 今治～尾道(向島)<往復> 500人 142.7km

	区間距離	累計距離	休憩等	先頭	最後尾
				高速道 29 km/h	19 km/h
				一般道 25 km/h	19 km/h
				休憩等	
スタート(今治IC)	0.0	0.0		8:35	8:42
大島南IC	12.4	12.4		9:00	9:21
大島BS	4.8	17.2		9:10	9:41
伯方島IC	5.8	23.0		9:22	9:59
大三島IC	7.0	30.0		9:37	10:21
AS・瀬戸田PA	3.5	33.5	0:15	9:44	10:47
生口島南IC	1.2	34.7		10:01	10:51
因島南IC	8.0	42.7		10:18	11:16
AS・万田発祥	4.1	46.8	0:05	10:28	11:34
折り返し・向島運動公園	16.2	63.0	0:10	11:11	12:35
AS・多々羅しまなみ公園	38.3	101.3	0:05	12:53	14:40
AS・伯方S・Cパーク	9.5	110.8	0:05	13:26	15:15
AS・よしうみバラ公園	13.1	123.9	0:05	14:09	16:01
フィニッシュ(広小路)	18.8	142.7		15:08	17:00

H 来島海峡SA～大島<往復> 1,000人 34.3km

	区間距離	累計距離	休憩等	先頭	最後尾
				高速道 20 km/h	11 km/h
				一般道 17 km/h	6 km/h
				休憩等	
スタート(来島海峡SA)	0.0	0.0		9:57	10:30
大島南IC	7.6	7.6		10:21	11:13
大島BS	4.8	12.4		10:36	11:39
AS・よしうみバラ公園	3.1	15.5	0:10	10:47	12:55
フィニッシュ(広小路)	18.8	34.3		12:03	16:03

4 実行委員会組織

4.1 実行委員会組織図



Ⅱ 大会運営計画



1 大会規約(一部抜粋)

1.1 参加資格

(1) 全コース共通

- ① 健康で、各コースを下表の時間内に完走できる脚力を有し、安全な走行が可能と自己の責任で判断できる者

コース	高速道路本線	全体
A	約23km(向島IC～大三島IC)を1時間5分以内	約70kmを5時間以内
B	約17km(向島IC～生口島南IC手前管理道)を55分以内	約70kmを6時間以内
C	約30km(今治IC～大三島IC)を1時間35分以内	約100kmを7時間30分以内
D	約43km(今治IC～因島南IC)を2時間20分以内	約140kmを8時間以内
E	約43km(今治IC～因島南IC)を2時間20分以内	約65kmを4時間30分以内
F	約30km(今治IC～大三島IC)を1時間35分以内	約70kmを6時間以内
G	約35km(今治IC～生口島南IC)を2時間5分以内	約75kmを6時間以内
H	約12km(来島海峡SA～大島BS)を1時間5分以内	約30kmを4時間以内

※エイドステーション滞在時間及び乗船時間等を含む。

※本表はあくまで該当区間を最後尾参加者が走行するのにかかる予測時刻である。実際はコースごとに開門時刻やフィニッシュ閉鎖時刻が設けられているため、当該制限時刻内に走行すること。

(2) **A B C D E F G** コース

高校生以上で、自己の責任で走行可能であり、過去のサイクリングイベント等で出走コースと同距離程度の完走経験がある者

(3) **H** コース

小学校4年生以上で、自己の責任で走行可能である者。ただし、小・中学生は、保護者・引率者等の責任を負える者の同伴が必要(事前提出の誓約書に保護者・引率者の承諾を明記)。

1.2 車種規定

(1) 使用可能車種

- ① 法令等の定めるところに従い、公道を走るために必要な装備、機能等を有する自転車であること。また、電動アシスト付き自転車(E-BIKEなど)を使用する場合は、公益財団法人日本交通管理技術協会において電動アシスト自転車型式認定を受けた製品を使用するなど、電動アシスト付き自転車に対する規制に留意すること。
- ② フリーホイール式で前後のブレーキが完全に作動し、通常走行に耐える強度を備えていること。
- ③ 電動アシスト付き自転車は、全コース使用可能とする(各コースの車種規定に該当する車種のみ使用可能)。ただし、当該自転車で特化したメカニックサービス(修理・充電等)は提供しないため、参加者自身が対応すること。

使用可能 ○	A B C D E F G コース	<スポーツ車> ・ロードバイク・MTB・クロスバイク・小径車(タイヤ径16～24インチ)
	H コース	<スポーツ車・軽快車・タンデム車> ・ロードバイク・MTB・クロスバイク・小径車(タイヤ径16～24インチ) ・軽快車(多段変速機付限定)・タンデム車(2人乗り限定)
使用不可 ×	・ピストバイク(固定ギア車)・リカンベント・ハンドサイクル・補助輪付き自転車・トレーラー ・ディスクホイール装着車(片輪のみでも使用不可)・こども用補助いす付き自転車・各コースの使用可能車種に該当しない車種	

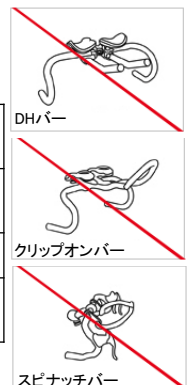
※タイヤの種類及び幅に規定は設けないが、チューブラータイヤは修理対象外とする。

※軽快車(いわゆるママチャリ)の電動アシスト付き自転車は、A～Gコース使用不可。Hコースのみ使用可。

(2) ハンドル形状

- ① 素早いブレーキ操作の妨げになり、急勾配での操作に不向きな形状のハンドルは禁止する。
- ② 標準装備と異なる形状であり、走行上、危険と判断されるハンドルは禁止する。

スポーツ車	○使用可能	・通常のドロップハンドル・フラットハンドル(バーエンドは使用可) ・ライザーバー・ブルホーンハンドル
	×	・DHバー・クリップオンバー・スピナッチバー ・右図のようなドロップハンドルにアタッチメント方式で取り付ける補助バー
軽快車 タンデム車	○使用可能	・購入時に標準装備されているもの又はそれと同形状のもの
	×	・購入時に標準装備されているものと異なるタイプのもの ・同形状のものでも、必要以上に角度が付けられていたり、逆向きに装着されているもの



(3) 装備品・付属品

- ① ヘルメット・前照灯(フロントライト)・尾灯(テールライト)又は反射板・ベルの装着を必須とする。
- ② 走行に不必要であり、安全走行の妨げとなる装備・装飾は禁止する。

必須	・ヘルメット(レザー、布製は禁止)・ベル・前照灯(フロントライト) ・尾灯(テールライト)又は反射板 ※トンネル内を走行するため尾灯(テールライト)の装着が望ましい。
推奨	・グローブ
使用可能	・ボトルケージ・サイクルコンピューター・自転車取り付けバッグ(サドルバッグ、フレームバッグ等)・泥よけ ・カメラ(自転車本体又はヘルメット等に固定し、落下防止措置がとられているものに限り)・その他、走行に必要な装備
使用不可	・走行に不必要、もしくは安全走行の妨げになる装備・装飾・かごの中に荷物、衣服等を入れての走行を禁止

1 大会規約(一部抜粋)

1.3 走行ルール

(1) 走行ルール全般

- ①参加者は、法令、規約等を遵守するとともに、コース及び各会場では、大会スタッフ、警察官、警備員等(以下「スタッフ等」という。)の指示、誘導に必ず従うこと。
- ②危険な走行やスタッフ等の指示に従わないときなど、参加者の行為が悪質な場合には警告を行い、警告に従わない場合は、走行中止を命じる。
- ③参加者は、自らが出走するコースについて、経路、分岐点、エイド、関門、制限時間、走行上の注意事項などを事前に十分確認の上、大会に臨むこと。
- ④参加者は、事故を起こしたとき、怪我をしたとき、それらを目撃したときは、110番通報や119番通報等、適切な緊急通報を行った後、必ずスタッフ等に連絡すること。近くにスタッフ等が見当たらない場合は、大会運営本部に連絡すること。

(2) 高速道路本線及び一般道共通の走行ルール

- ①走行中は、急ブレーキなどによる事故を避けるため、周囲の参加者と適切な車間を空けるなど、道路及び交通等の状況に応じて、他人に危害や迷惑を及ぼさない速度と方法で走行すること。
- ②各コースの先導スタッフを追い越すことを禁止する。
- ③指定されたコース・順走方向を遵守すること。故意にコースを外れた場合は、原則リタイアとし、収容車に収容のうえ、フィニッシュ会場へ移送する。
- ④他の参加者を追い越す場合は、周囲へのサインや声かけを必ず実行し、参加者同士が譲り合って安全な走行を行うこと。
- ⑤走行スタッフが制限時間内でのフィニッシュが困難である、又はこれ以上の走行の継続が不可能であると判断した場合には走行を中止させ、収容車に収容するので、スタッフ等の指示に従うこと。
- ⑥補聴器など聴覚機能を補完するための器具を除き、イヤホン等を装着しての走行を禁止する。
- ⑦カメラやスマートフォン等を片手に持った状態などでの片手運転を禁止する。また、参加者がドローン等(小型無人機)を飛行させて大会を撮影することは禁止する。
- ⑧天候不良時、夕暮れ時及びトンネル内を走行する際には、必ず前照灯(フロントライト)を点灯すること。

(3) 高速道路本線の走行ルール

- ①高速道路本線は、道路外への転落防止のための外壁やガードレール等の高さが低いなど、自転車の走行を前提とした構造ではないため、路側帯やカラーコーンで区切られたコース以外の場所などに入らない等、主催者が規定するルールを遵守するだけでなく、参加者自身においても常に安全な走行を行うこと。
- ②上り車線(今治から尾道方面行)を参加者の走行車線とする。片側一車線区間では、走行レーンの中央寄りを、原則二列走行すること。
- ③下り車線(尾道から今治方面行)は、緊急車両通行レーンのため、絶対に立ち入らないこと。緊急車両が走行してきた場合は、路側帯側に寄って走行すること。(路側帯内は走行しないこと)
- ④立ち止まったりの撮影を禁止する。事故等のやむを得ない場合を除き、高速道路本線上での停車を禁止する。

(4) 一般道・自転車歩行者道の走行ルール

- ①原則として、車道の左側端を一列走行すること。
- ②見通しの悪い箇所やカーブ(狭隘路・取付道・橋梁部)などの特に注意を要する箇所では、常に対向車が来るものと想定し、減速や安全確認などをした上で走行すること。無理な(危険な)追い越しや対向車線へのはみ出しは厳禁とする。
- ③走行中は、周囲の歩行者及び一般車両に十分注意し、安全のため、右左折時等の手・腕による合図を必ず実行すること。ただし、手・腕による合図を実行することが危険な場合は、声かけにより周囲へ伝えること。
- ④参加者の家族等が自家用車等で伴走することは非常に危険であり、一般車両の走行の妨げになるため禁止する。

(5) 自転車の故障

- ①自転車が故障した場合は、高速道路本線では非常駐車帯、一般道では路外(歩道)などの安全な場所に停車してから修理を行うこと。
- ②原則として、パンク修理等は参加者自身で行うこととし、自身で修理できない場合は、最寄りの大会スタッフの指示を受けること。
- ③スタート会場やエイドステーションでメカニックサービスを実施するが、部品交換が必要となる場合は有償とする。

高速道路での3つのお願い



法令を守ってください



2 参加者募集計画

2.1 参加者募集フロー

2月中旬～		<div>●実施計画・募集要項を発表(報道機関へ告知リリース) ●大会公式HPに大会概要・募集告知を掲載</div> <div>●ポスター、リーフレットを配布 など</div> <div>【外国人参加者への対応】※2月以前に先行して実施</div> <div>●募集告知媒体(ポスター、リーフレット等)の多言語化 ●海外イベント・メディアでの情報発信</div> <div>●関係自治体のインバウンド施策との連携 ●海外ツアー枠の設定(海外ツアー商品の造成) など</div>			
一次募集	4月中旬～5月下旬	先行受付	<div>【先着順】</div> <div>プレミアムエントリー枠</div> <div>●エントリー専用WEBサイトから受付</div> <div>●参加料の入金手続き先着順にて出走権を確定</div>	<div>【先着順】</div> <div>ふるさと納税エントリー枠</div> <div>●ふるさと納税専用WEBサイトから受付</div> <div>●申込み手続き先着順にて出走権を確定</div>	<div>【抽選】</div> <div>一般エントリー(海外)枠</div> <div>●エントリー専用WEBサイト(英語)から受付</div> <div>●国内在住外国人にも国内参加者に先駆けて募集開始</div>
				<div>【抽選】</div> <div>一般エントリー(国内)枠</div> <div>●エントリー専用WEBサイト(日本語)から受付</div>	
	6月上旬	<div>参加者募集締切・抽選</div> <div>●一般エントリー枠は、抽選にて参加者を選定し、結果通知メールを送付(入金手続き後)に出走権を確定</div> <div>●各枠のエントリー情報を統合 ⇒ 状況に応じて、空き枠が出たコースは追加募集</div>			
追加募集	7月上旬～中旬		<div>【先着順】</div> <div>一般エントリー枠(追加)</div> <div>●エントリー専用WEBサイトから受付</div> <div>●参加料の入金手続き先着順にて出走権を確定</div> <div>※空き枠が出たコースのみ</div>		
	9月下旬	<div>大会参加者確定</div> <div>●エントリー状況など大会内容の詳細を発表(報道機関へプレスリリース)</div>			
		<div>事前配付物の発送</div> <div>●事前配付物</div> <div>・参加案内冊子(大会参加にあたっての注意事項、参加者受付・イベント、スタート・フィニッシュ など)</div> <div>・ゼッケン引換券(オモテ:誓約書 ウラ:自転車検査証) ・駐車証 など</div> <div>※事前配付物の発送方法は、国内は郵送、海外はエントリー専用WEBサイトで公開</div>			
前日受付 10月24日(土)		<div>参加者受付(尾道・今治・松山)</div> <div>●参加者から誓約書と自転車検査証を記入したゼッケン引換券を受け取り、ゼッケン(計測チップ付)、二次元バーコード入りチラシ、高速道路の注意喚起チラシ、記念品などを配付する。</div> <div>また、事前申込者には手荷物用ゼッケンシールを配付する。</div>			
大会当日 10月25日(日)		<div>大会実施</div> <div>●スタート、フィニッシュにインフォメーションを設置する。</div>			

2 参加者募集計画

2.2 参加枠の設定

一般枠のほかに、地元特産品をセットにしたプレミアムエントリー枠、また尾道市、今治市、上島町のふるさと納税エントリー枠の設定により愛媛県、広島県以外の地域からの参加促進を図るとともに、海外等からのツアー枠を設定することで大会への国外等からの誘客を促進する。

エントリー枠の種類	対象コース	決定方法	出走権	特典		グループエントリー	受付方法
				地元特産品	特製ジャージ		
プレミアム	全コース (各コース定員の1割)	先着順	○	○	○	2名まで	エントリー専用WEBサイト
一般	全コース	抽選	○	—	—	5名まで	
ふるさと納税	A (尾道市) E (今治市) G (上島町)	先着順	○	—	—	2名まで	ふるさと納税+エントリー専用WEBサイト

※上記のほかに次のエントリー枠を設定。

- ・ツアー枠…「出走権+宿泊手配+交通手段+レンタサイクル」がパッケージのツアー商品
- ・特別枠…国内外からの招待者、関係者、協賛企業関連等
- ・一般枠のうち、海外参加者向けは、1週間先行して、募集開始。

2.3 募集活動

サイクリストの聖地「瀬戸内しまなみ海道」の魅力とともに、国内外に広く大会をPRするとともに、関係自治体を実施する施策と連携することで、効果的に募集活動を行う。

(1) 印刷媒体

- ・B2ポスターやA3リーフレット(2つ折り)を作成し、関連自治体や全国のサイクリングショップ、スポーツショップ等へ送付する。
- ・A3リーフレットは、大会概要及び募集要項(日程、募集期間、申込方法、コース、走行距離、定員、参加料、車種、注意事項、参加資格、各種サービスの案内など)を記載する。

(2) SNS及び自転車専門メディア等への広告

- ・SNSや国内の自転車専門メディア等に募集告知を掲載する。
- ・大会内容の告知に加えて開催エリアの魅力を紹介するタイアップ記事の掲載も検討し、サイクリストの聖地「瀬戸内しまなみ海道」及び愛媛県、広島県のサイクリングの魅力発信を行う。

(3) パブリシティ活動

- ・愛媛県、広島県内及び関西・首都圏のマスメディアを中心にパブリシティ活動を展開する。
- ・大都市圏で開催される自転車イベント等において、地元自治体と協同で宣伝ブース等を出展し、大会のPR、瀬戸内しまなみ海道の情報発信等を行うことにより報道に繋げる。

(4) マスメディアとの連携

- ・愛媛県、広島県内のマスメディアに連携を打診し、募集・開催告知及び開催機運の醸成を図ることを検討する。

【外国人参加者への対応】

- (1) 募集告知媒体の多言語化により外国人参加者のストレスを軽減する。

- 例)・大会公式HP: 英語、中国語(繁体字/簡体字)、韓国語
- ・エントリー専用WEBサイト: 英語
 - ・B2ポスター: 英語
 - ・A3リーフレット(2つ折り): 英語、中国語(繁体字/簡体字)、韓国語

- (2) 関係自治体を実施するインバウンド施策と連携し、瀬戸内しまなみ海道の情報発信とあわせて、大会をPRすることで、外国人参加者の増加と参加する国・地域の拡大を図る。

- (3) 海外ツアー枠を設け、旅行会社と連携し、海外ツアー商品の造成、販売を促進する。



2 参加者募集計画

2.4 参加申込受付

参加者募集を円滑に運営するため、エントリーや輸送サービス等の申込受付、参加枠の在庫管理、問い合わせ等を一元的に管理するエントリーセンターを設置する。

名称	サイクリングしまなみ2026エントリーセンター(仮称)
設置期間	4月上旬～11月
主な機能	<ul style="list-style-type: none"> ・エントリーに関する問い合わせ対応(対応言語:日・英) ・参加者情報の一元管理(参加枠の在庫管理含む) ・輸送サービスなど参加者向けサービスの申込受付サポート など

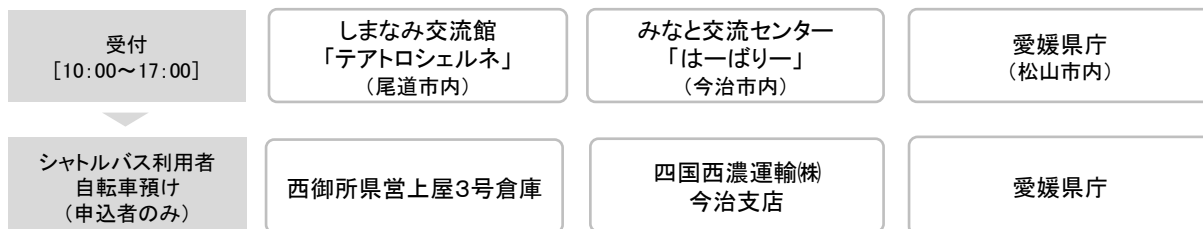
■参加申込みの流れ

一次募集	<p>プレミアムエントリー ふるさと納税エントリー 一般エントリー 申込み 《4月中旬～5月下旬》</p>	<p>※プレミアムエントリー、ふるさと納税エントリー、一般エントリー(海外)は、1週間先行して募集開始 【入力項目】※申込後の変更は原則認めない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「コース」の選択 ●参加者情報(全員選択) <ul style="list-style-type: none"> ・車種 ・走完予想タイム ・前日受付会場(尾道・今治・松山) ・当日駐車場利用有無 ・血液型 ・メールアドレス ・大会当日連絡先 ・大会当日の緊急連絡先(本人以外) ●オプション(有料・希望者のみ) <ul style="list-style-type: none"> ・手荷物預かり(片道・往復) ・公式グッズ(しまなみジャージなど)
	<p>一般エントリー 抽選結果通知 《6月上旬》</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●当落に関わらず、エントリーセンターから結果通知メールが届く。 ⇒ 当選者は、参加料の入金手続き後に出走権を獲得する。
	<p>輸送サービス 申込み 《6月中旬》</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●全参加者に、エントリーセンターから参加料向け輸送サービスの案内メールが届く。 ●希望者は、輸送サービス専用WEBサイトから申込み、入金手続きを行う。
追加募集	<p>一般エントリー(追加) 申込み 《7月上旬》</p>	<p>【入力項目】は上記と同じ。ただし、空き枠が出たコースのみ選択可。</p>
	<p>輸送サービス(追加) 申込み 《7月中旬》</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●追加の参加者に、エントリーセンターから参加料向け輸送サービスの案内メールが届く。 ●希望者は、輸送サービス専用WEBサイトから申込み、入金手続きを行う。
事前準備	<p>事前配付物の確認 誓約書・自転車検査証 の記入 《9月下旬～》</p>	<p>※受付場所、実行委員会が指定する大会当日の駐車場、利用申込サービスの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事前配付物 <ul style="list-style-type: none"> ・参加案内冊子(大会参加にあたっての注意事項、参加者受付・イベント、スタート・フィニッシュ など) ・ゼッケン引換券(オモテ:誓約書 ウラ:自転車検査証) ・駐車証 など <p>※事前配付物の発送方法は、国内は郵送、海外はエントリー専用WEBサイトで公開</p> 
<p>前日受付 10月24日(土)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ●誓約書と自転車検査証を記入したゼッケン引換券を提出し、ゼッケン(計測チップ付)、二次元バーコード入りチラシ、高速道路の注意喚起チラシ、記念品などを受け取る。 また、事前申込者は手荷物用ゼッケンシールを受け取る。
<p>大会当日 10月25日(日)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ●集合～手荷物(シール貼付済み)預け～スタート～フィニッシュ～解散

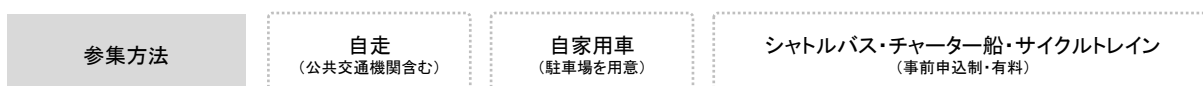
3 参加者フロー

3.1 参加者フロー

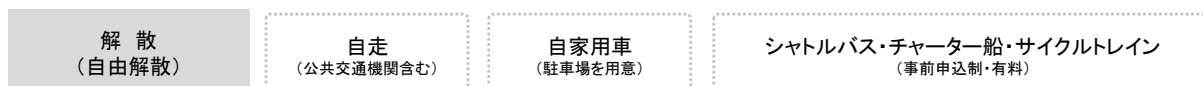
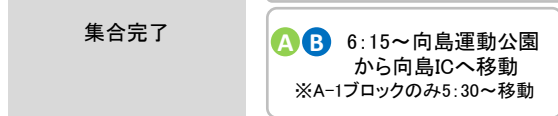
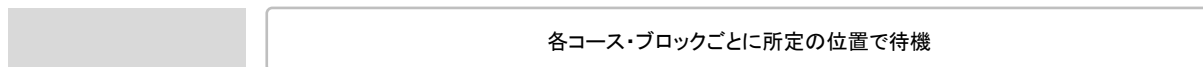
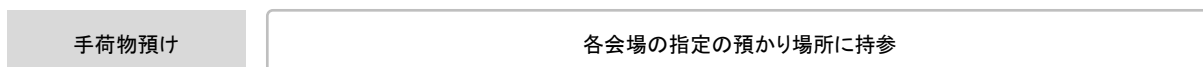
10月24日(土) 前日受付



10月25日(日) 大会当日



指定の参集ルートを通行して会場集合



4 受付計画



4.1 受付方法

日時		10月24日(土) 10:00～17:00		
会場		今治市	松山市	尾道市
		みなと交流センター「はーばりー」	愛媛県庁	しまなみ交流館「テアトロシェルネ」
想定人数		3,500名	1,700名	1,800名
臨時駐車場		○ (周辺の小学校等を確保)	× (周辺の有料駐車場を利用)	× (周辺の有料駐車場を利用)
受付方法	参加者	申込み時に選択した会場に来場し、誓約書と自転車検査証を記入したゼッケン引換券を提出する。		
	実行委員会	ゼッケン引換券の記載を確認した後、ゼッケン(計測チップ付)、二次元バーコード入りチラシ、高速道路の注意喚起チラシ、記念品などを配付する。 ※顔写真付きの証明書による本人確認を実施する場合あり また、事前申込者に手荷物用ゼッケンシールを配布する。		

■参加者の提出物

(オモテ)ゼッケン引換券・誓約書 (ウラ)自転車検査証

※自転車検査証の記入にあたっては、自転車店で
検査してもらうか、自己責任で検査する。

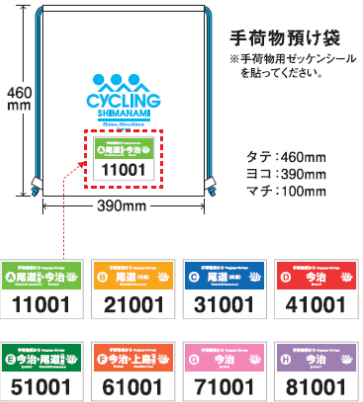


■実行委員会の配布物

例)・ゼッケン(3枚、留め具) ・チラシ①(大会パンフレット、完走証) ・チラシ②(高速道路) ・手荷物預け袋(参加記念品入り)
・手荷物用ゼッケンシール(事前申込者のみ)



※大会パンフレット、完走証は
データで閲覧可



5 駐車場計画

5.1 駐車場設置計画

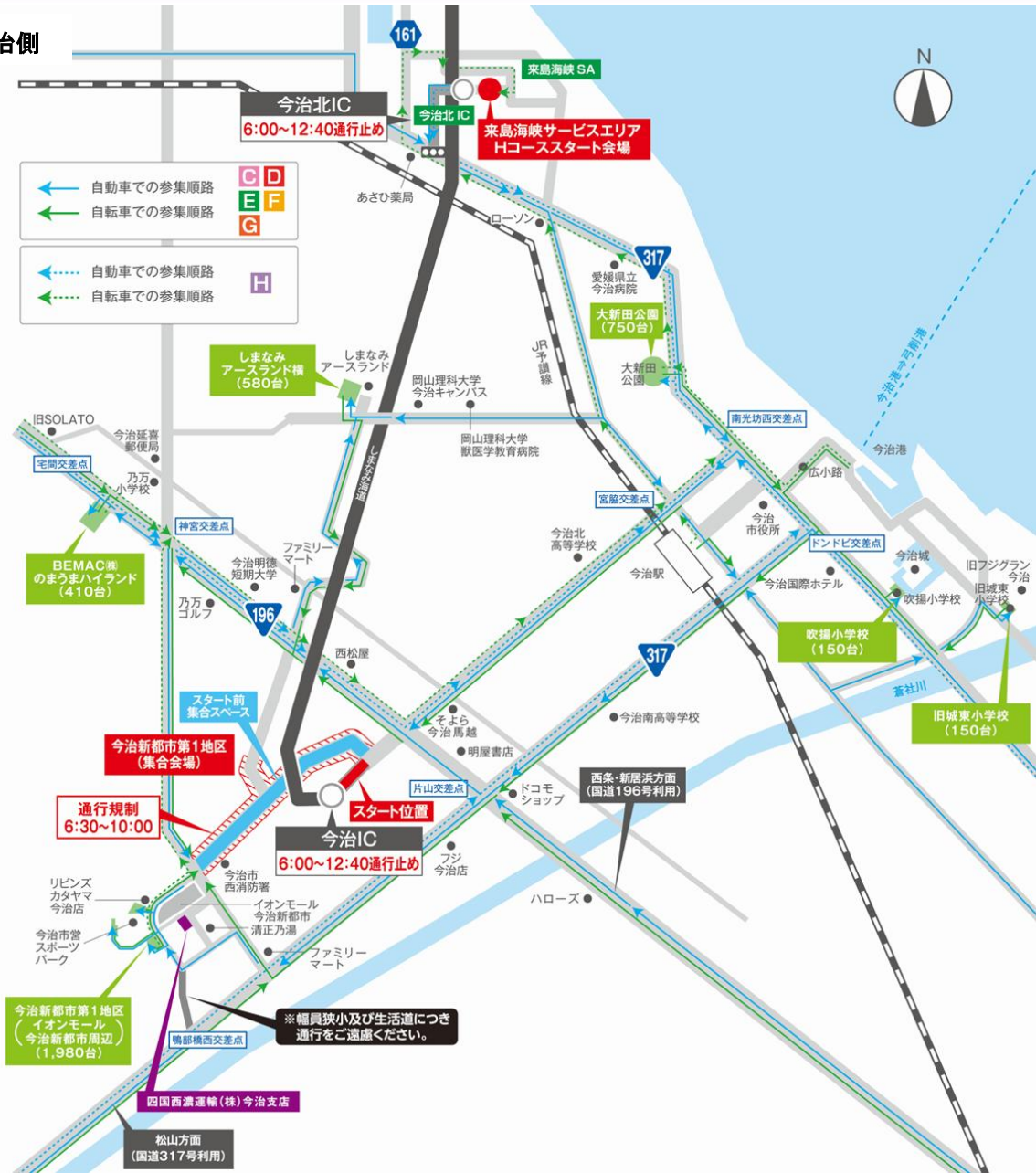
大会公式HPや事前配布物にて、駐車場及び参集ルートを事前に周知する。また、必要に応じて、駐車場には照明設備、簡易トイレ及び誘導員を、参集ルート上の主な交差点には案内看板及び誘導員を配置して、安全かつ円滑に運営する。

(1)尾道側



コース	参加 定員	必要駐車台数 ※参加定員の6割で算出	想定駐車場 (駐車可能台数)	駐車場 開場時間	スタート	フィニッシュ
A	1,250	750	向島運動公園 (250)	4:00～19:00	向島IC	広小路
B	250	150	三幸小学校 (210) 向島中央小学校 (250) 向東小学校 (250)			向島運動公園
E シャトルバス 利用者向け	(1,000)	100 ※参加定員の1割で算出	市民センター むかいしま(100)	3:30～19:00	今治IC	
合 計	1,500	1,000	(1,060)	-	-	-

(2)今治側



コース	参加定員	必要駐車台数 ※参加定員の6割で算出	想定駐車場 (駐車可能台数)	駐車場 開場時間	スタート	フィニッシュ
C	1,250	750	今治新都市第1地区 (1,980) BEMAC株 (410) しまなみアースランド横 (580) 吹揚小学校 (150) 旧城東小学校 (150)	5:00～19:00	今治IC	広小路
D	500	300				向島運動公園
E	1,000	600				広小路
F	1,250	750				弓削港
G	500	300				
H	1,000	600	大新田公園 (750)	3:30～19:00	来島海峡 SA	広小路
A シャトルバス 利用者向け	(1,250)	125 ※参加定員の1割で算出			向島IC	
合 計	5,500	3,425	(4,020)	-	-	-

6 スタート計画

6.1 スタート方式・スケジュール

■スタート方式

コース	スタート	参加者数	先頭出発時刻	スタート方式
A 尾道(向島)⇒今治(片道)	向島IC	1,250名	7:37	250名/5分間隔
B 尾道(向島)⇄上島(岩城島)(往復)		250名	8:02	
C 今治⇄大三島周遊(往復)	今治IC	1,250名	8:15	250名/4分間隔
D 今治⇄尾道(向島)(往復)		500名	8:35	
E 今治⇒尾道(向島)(片道)		1,000名	8:43	
F 今治⇄大三島折返(往復)		1,250名	8:59	
G 今治⇒上島(弓削島)(片道)		500名	9:19	
H 来島海峡SA⇄大島(往復)	来島海峡SA	1,000名	9:57	30～40名/1分間隔

■スタートスケジュール(全体)

時間	尾道スタート(向島運動公園・向島IC) A B	今治スタート(今治新都市第1地区・今治IC) C D E F G	来島海峡SAスタート H
3:00	駐車場 設営開始	駐車場(シャトルバス利用者向け) 設営開始	
30		駐車場(シャトルバス利用者向け) 開場	
4:00	駐車場 開場 ▲向島運動公園 設営開始(本部設置)	駐車場 設営開始	
5:00	○交通規制(一般道:市道津部田線)	駐車場 開場	
30	A B コース 集合開始 → A-1 ブロックのみ、30～50名集合すること、向島ICへ移動開始	▲道路外 設営開始(本部設置)	駐車場 設営開始
6:00	◎交通規制(高速:尾道大橋出入口～今治IC)		
	○交通規制(一般道:国道317号手前～向島IC)		駐車場 開場
10	▲向島IC 設営開始(第1段階)		
15	A コース 集合完了 → 向島ICへ移動開始		
20	■注意事項の説明等		
30	▲向島IC閉鎖 B コース 集合完了 → 向島ICへ移動開始	○交通規制(一般道)→▲一般道 設営開始	▲来島海峡SA 設営開始(本部設置)
50		C D コース 集合開始	
7:00		▲道路外・一般道 設営完了	
04	▲クリア確認完了 → 向島IC設営開始(第2段階)	E コース 集合開始	
10	(A コース先頭が整列区間に到着)		
14		▲クリア確認完了 → 今治IC 設営開始	▲クリア確認完了 → 設営車両退出
15		C D コース 集合整列完了	
21	▲向島IC 設営完了		
25	A コース(第1,2ブロック)スタート位置 到着 ※順次、第3ブロック以降も		
30		F G コース 集合開始	○交通規制(一般道)
32	■スタートセレモニー		
37	A コーススタート(全5ブロック) ※250名/5分		
45		C コース(第1,2ブロック)スタート位置 到着 ※順次、第3ブロック以降も	
50		▲今治IC 設営完了 E コース 集合整列完了	
8:00	○交通規制(一般道)解除		
02	B コーススタート(全1ブロック) ※250名/5分		
05		■スタートセレモニー、注意事項の説明	
06	■全コーススタート完了 → 順次、撤去開始		
15		C コーススタート(全5ブロック) ※250名/4分 F G コース 集合整列完了	▲来島海峡SA 設営完了 → H コース 集合開始
35		D コーススタート(全2ブロック) ※250名/4分	
43		E コーススタート(全4ブロック) ※250名/4分	
59		F コーススタート(全5ブロック) ※250名/4分	
9:19		G コーススタート(全2ブロック) ※250名/4分	
20			H コース集合完了 → ○交通規制(一般道)解除
26		■全コーススタート完了 → 順次、撤去開始	
45			■スタートセレモニー、注意事項の説明
57			スタート(全33ウェーブ) ※30～40名/1分
10:00	◎交通規制(高速:尾道大橋出入口～因島北IC)解除	▲一般道 撤去完了 → ○交通規制(一般道)解除	
30			■スタート完了 → 順次、撤去開始
12:40	◎交通規制(高速:因島北IC～今治IC) 解除		

6 スタート計画

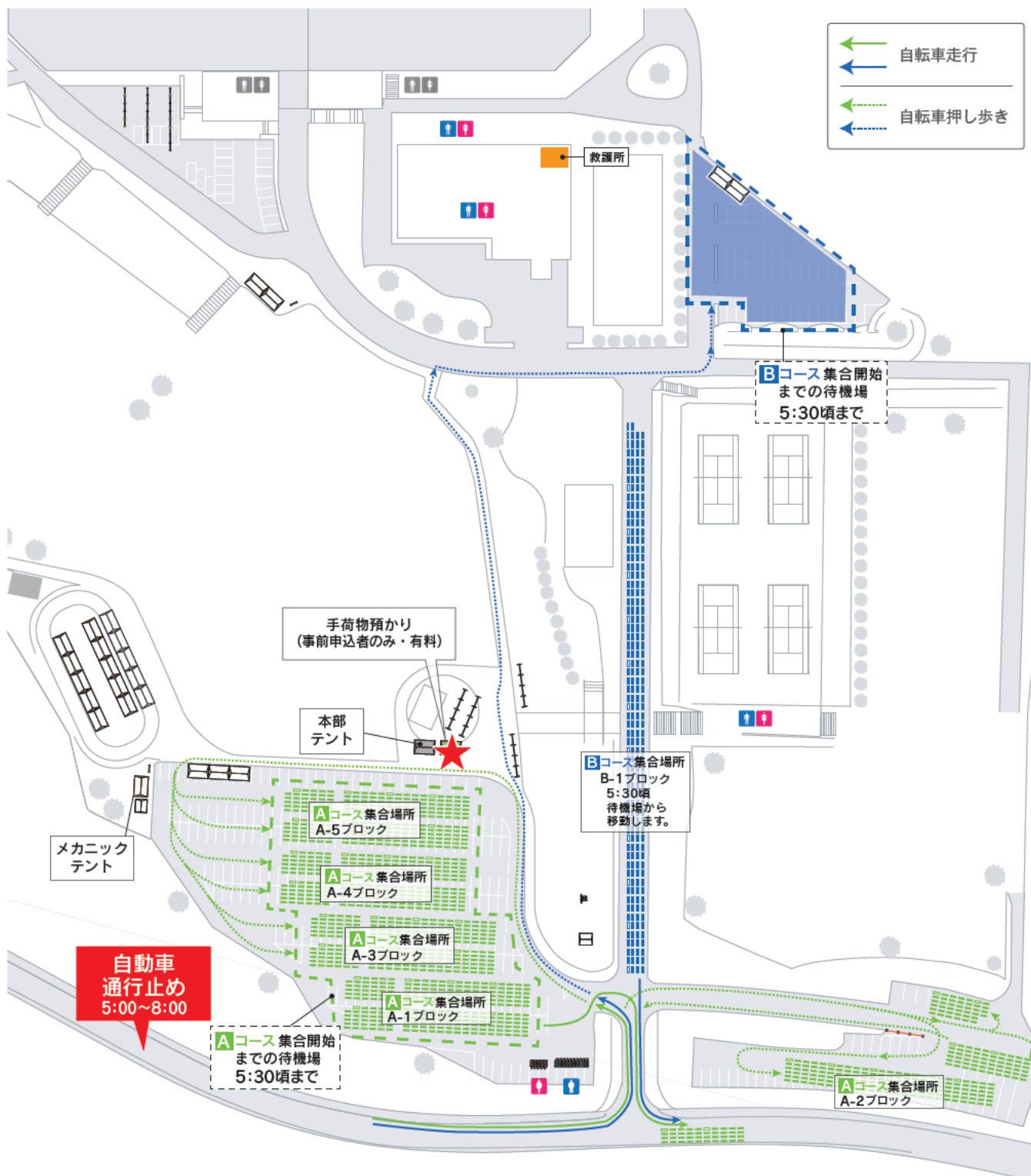
6.2 尾道(向島運動公園・向島IC)スタート

参加者の脚力に応じたブロック分けを行い、事前の案内と大会当日の誘導により、参加者を安全かつ円滑にスタートさせる。

(1) 集合会場(向島運動公園)への誘導

- ・駐車場などから集合会場までの参加者の誘導方法は5「駐車場計画」を参照
- ・1ブロック(250名)単位で整列させ、集合会場において走行上の注意事項の説明などを行う。

■向島運動公園



(2)スタート地点(向島IC)への誘導

- ・集合完了後、向島ICに移動させる。
※A-1ブロックのみ先行して、5:30～向島ICへ向かい、向島インター入口前で待機。
- ・緊急車両走行のため、片側の車線は進入禁止とする。

■向島運動公園から向島ICまでの経路



(3)スタート位置への誘導～スタート

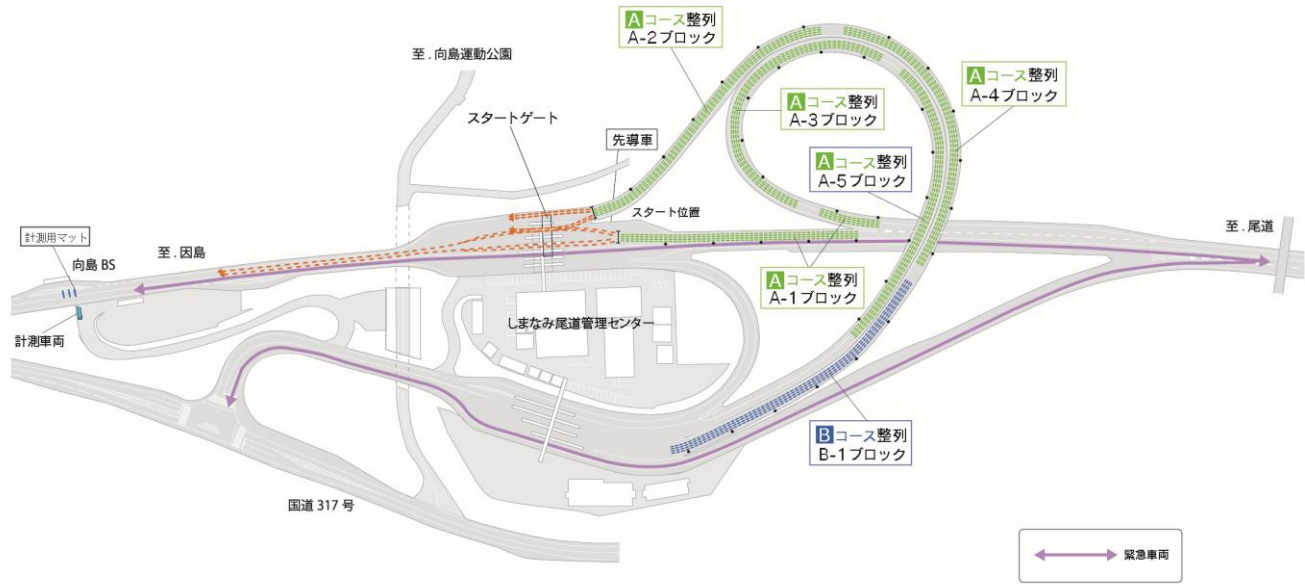
対象コース	人数	時刻	スタート間隔
A B	1,500名	7:37～8:06	1ブロック(250名)/5分

- ・向島ICの上り線と直結路の2車線を使用して整列させる。
- ・下図のように1車線に1ブロックを横4列×縦63名程度(250名)で整列させ、4台横並びでスタートさせる。
※参加者は前方のブロックがスタートする度にスタート位置に移動する。以降、同様に繰り返す。

■向島IC

(スタート時:向島IC)

※向島ICへ直接集合することはできません。



(4)スタートスケジュール(ブロックごと)

ウェーブ	ブロック		4	5	6	7						8	
			00	30	15	30	10	37	42	47	52	57	2
1	A	1 1～250	駐 車 場	向 島 運 動 公 園			向 島 I C	スタート開始					
2		2 251～500		向 島 運 動 公 園			スタート						
3		3 501～750	開 場				順 次 整 列 開 始	位置に移動					
4		4 751～1000		集 合 開 始	公 園								
5		5 1001～1250			集 合 完 了								
6	B	1 1～250		1のみ順次向島I Cへ移動	向島運動公園	集合完了							

(5)来賓・役員・招待者

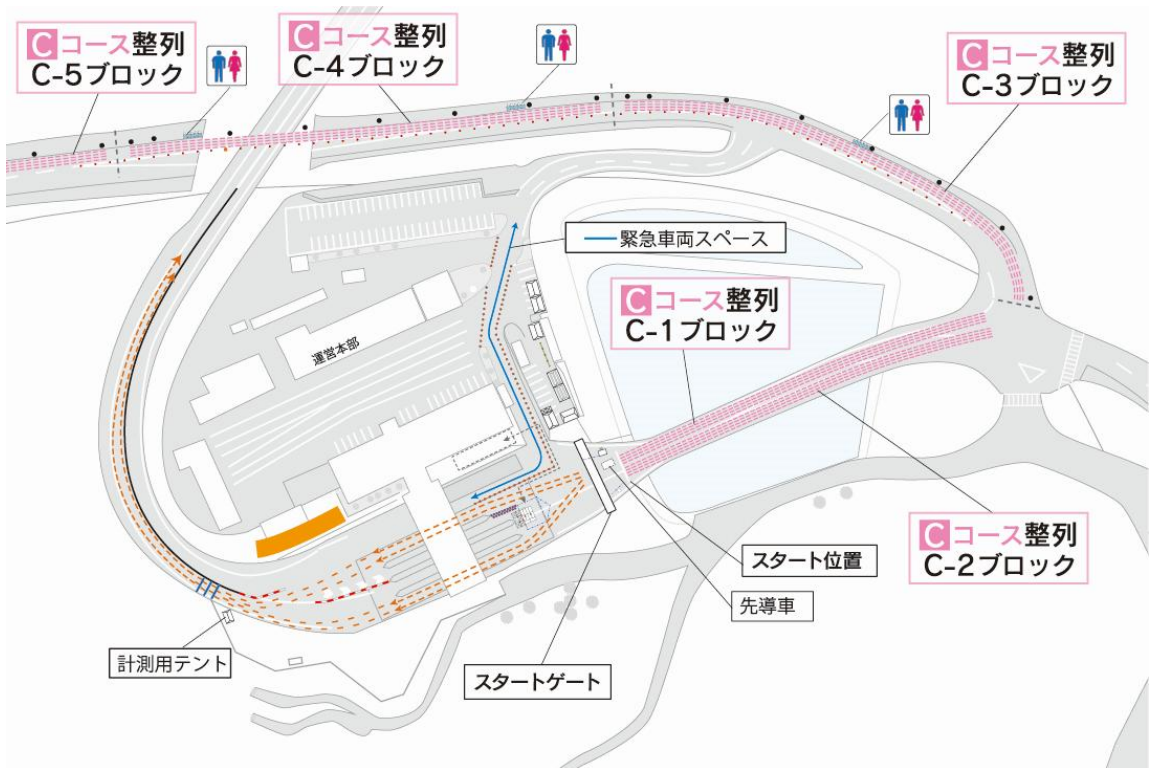
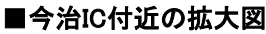
- ①出席者区分
大会関係者など
- ②スケジュール

時 間	内 容	
6:30～	来賓受付	・駐車場から受付テント(尾道管理事務所)まで案内 ・受付後、出走する場合は出走準備、観覧の場合は来賓テントまで案内 ※手荷物預かり時間の締切については別示
7:32～	スタートセレモニー	・主催者挨拶、スターター紹介 ・スターター準備
7:37～	スタート	・順次、ウェーブごとにスターターがスタートの合図 → 解散(～8:06スタート完了)

参加者の脚力に応じたブロック分けを行い、事前の案内と大会当日の誘導により、参加者を安全かつ円滑にスタートさせる。

- ・駐車場などから集合会場までの参加者の誘導方法は5「駐車場計画」を参照
- ・交通規制中の一般道に1ブロック(250名)単位で整列させる。なお、周辺の混雑緩和のため、**C** **D**コース、**E** コース、**F** **G**コースの3段階に分けて集合させる。
- ・緊急車両の走行区間のため、下り線は進入禁止とする。
- ・整列区間進入口での呼びかけや、整列区間内に放送設備を設置し、スタート進行状況や整列のアナウンスを行うことにより、円滑な誘導を行う。

6:30～ **C・D**コース 6:30、**E**コース 7:00、**F・G**コース 7:30の3段階に分けての集合開始となります。
※諸条件等により、会場レイアウトが一部変更となる可能性がございます。予めご了承ください。



(2)スタート位置への誘導～スタート

対象コース	人数	時刻	スタート間隔
C D E F G	4,500名	8:15～9:26	1ブロック(250名)/4分

- ・今治ICの2車線を使用して整列させる。
 - ・下図のように、1車線に1ブロックを4列×63名程度(250名)で整列させ、4台横並びでスタートさせる。
- ※参加者は前方のブロックがスタートする度にスタート位置に移動する。



(3)スタートスケジュール(ブロックごと)

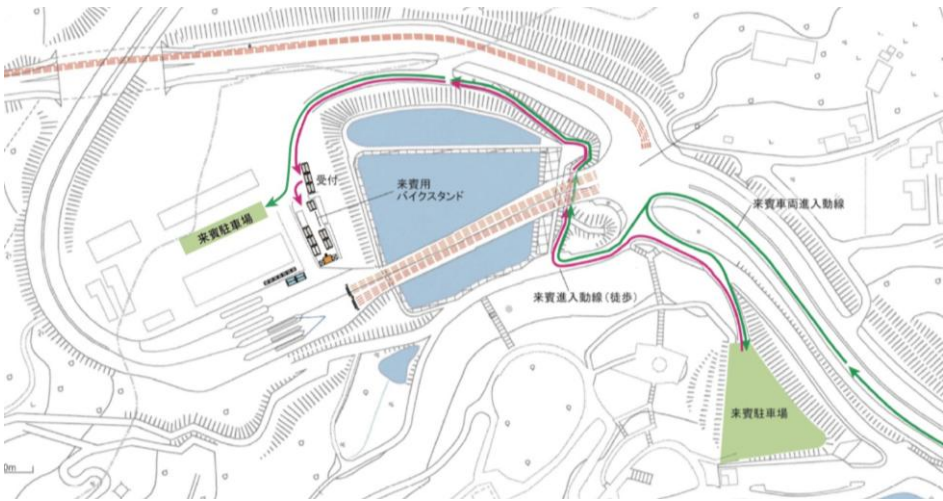
ウェーブ	ブロック		7		8												9						
			15	50	15	19	23	27	31	35	39	43	47	51	55	59	3	7	11	15	19	23	
1	C	1 1～250	集合 整列 完了		スタート開始																		
2		2 251～500																					
3		3 501～750																					
4		4 751～1000																					
5		5 1001～1250																					
6	D	1 1～250																					
7		2 251～500																					
8	E	1 1～250	集合 整列 完了																				
9		2 251～500																					
10		3 501～750																					
11		4 751～1000																					
12	F	1 1～250	集合 整列 完了																				
13		2 251～500																					
14		3 501～750																					
15		4 751～1000																					
16		5 1001～1250																					
17	G	1 1～250																					
18		2 251～500																					

(4)来賓・役員・招待者への対応

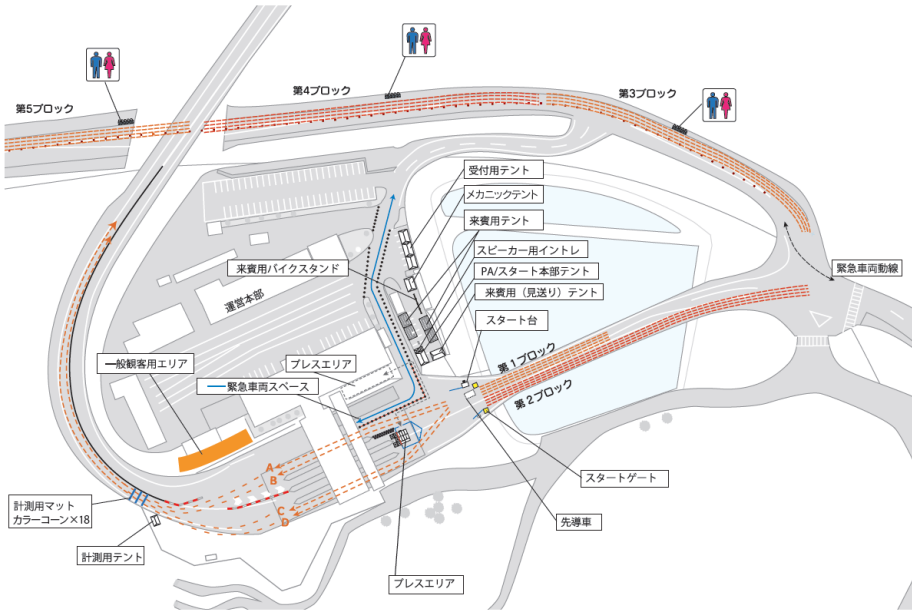
- ①出席者区分
大会関係者など
- ②スケジュール

時 間	内 容	
7:00～	来賓受付	・駐車場から受付テント(今治管理事務所)まで案内 ・受付後、出走する場合は出走準備、観覧の場合は来賓テントまで案内 ※手荷物預かり時間の締切については別示
8:05～	スタートセレモニー	・主催者挨拶、スターター紹介、走行上の注意事項 ・スターター準備
8:15～	スタート	・順次、ウェーブごとにスターターがスタートの合図 → 解散(～9:26スタート完了)

■来賓駐車場(今治管理事務所・市制50周年記念公園)



■今治管理事務所



6.4 来島海峡SAスタート

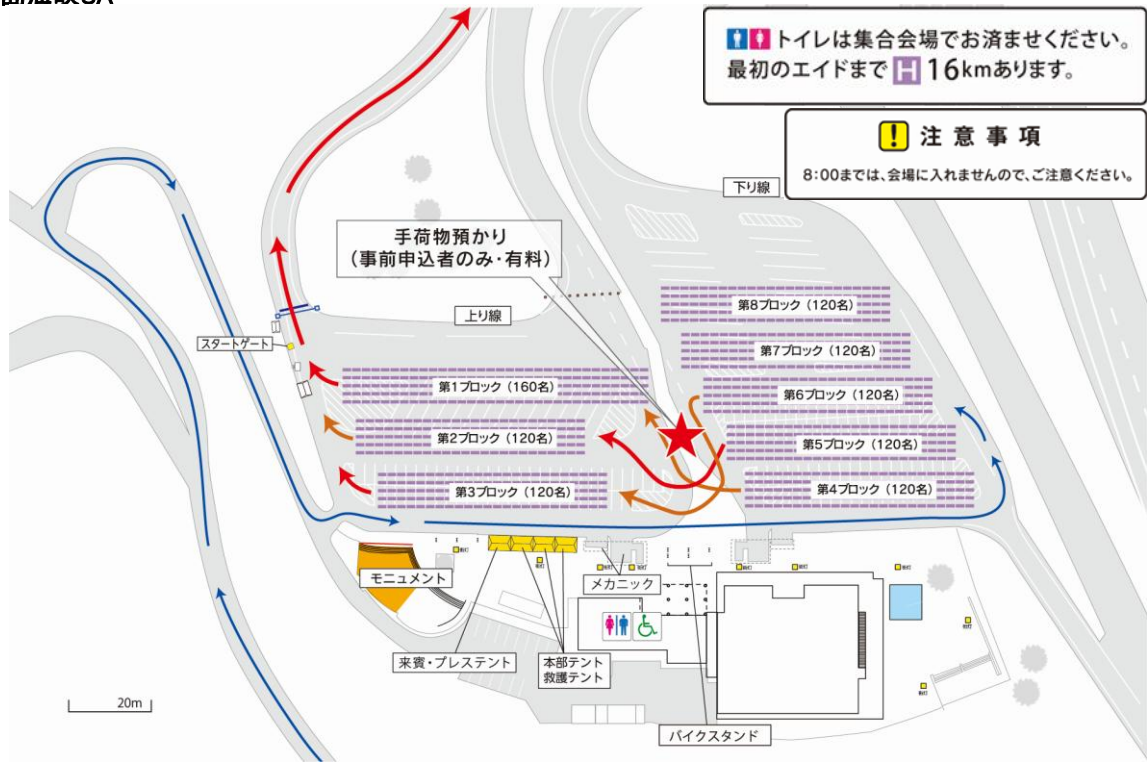
参加者の脚力に応じたブロック分けを行い、事前の案内と大会当日の誘導により、参加者を安全かつ円滑にスタートさせる。

(1) 集合会場(来島海峡SA)への誘導～スタート

対象コース	人数	時刻	スタート間隔
H	1,000名	9:57～10:30	30～40名/1分

- ・駐車場などから集合会場までの参加者の誘導方法は5「駐車場計画」を参照
- ・下図のように1ブロック(120～160名・4列×30～40名程度)ごとに整列させ、スタートさせる。
※参加者は前方のブロックがスタートする度にスタート位置に移動する。
※第1ブロックの先頭である第1ウェーブのみ40名でスタートし、その後は30名でスタートする。

■ 来島海峡SA



(2) 来賓・役員・招待者

- ① 出席者区分
大会関係者など
- ② スケジュール

時 間	内 容	
9:00～	来賓受付	・駐車場から受付Tent(来島海峡SA)まで案内 ・受付後、出走する場合は出走準備、観覧の場合は来賓Tentまで案内 ※手荷物預かり時間の締切については別示
9:45～	スタートセレモニー	・主催者挨拶、スターター紹介、走行上の注意事項 ・スターター準備
9:57～	スタート	・順次、ウェーブごとにスターターがスタートの合図 → 解散(～10:30スタート完了)

7 フィニッシュ計画

7.1 基本方針

地域活動団体などのボランティアの協力を得ながら、フィニッシュした参加者に対して、給水・給食など各種サービスを提供する。

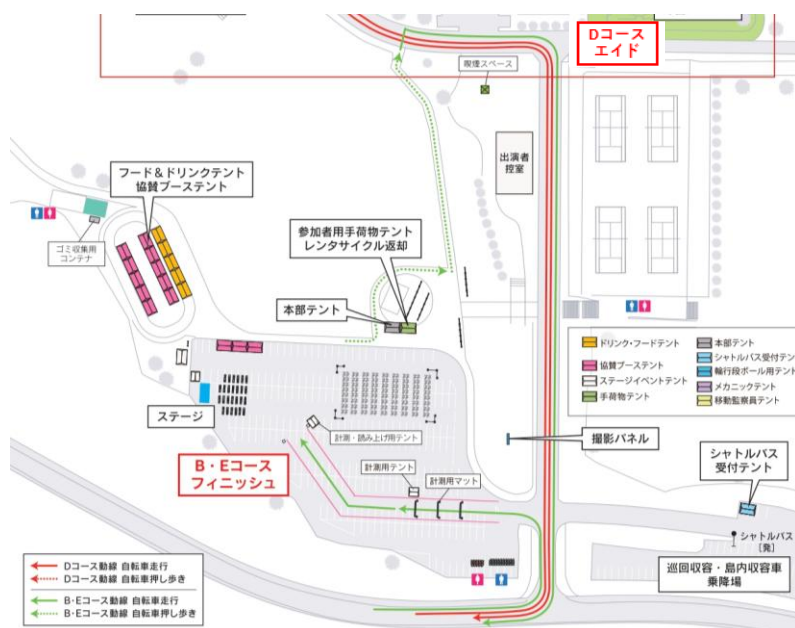
特に、フィニッシュフードとして地元グルメや地元食材を利用した食べ物を提供し、参加者が地域を感じることができるとおもてなしを行う。また、救護所を設けて、体調不良者のケアにも万全を期す。

7.2 フィニッシュ会場計画

■フィニッシュ会場一覧

会場	広小路・今治港 A C D F H (5,250名)	向島運動公園 B E (1,250名)	弓削港 G (500名)
提供サービス	・フィニッシュゲートの設置 ・手荷物の返却 ・リタイア者の回収 ・フィニッシュフード、ドリンクの提供 ・男女別更衣室の設置 ・トイレの設置 ・通訳の配置 ・救護所の設置 ・レンタサイクル返却窓口の設置 ・総合受付の設置 など		

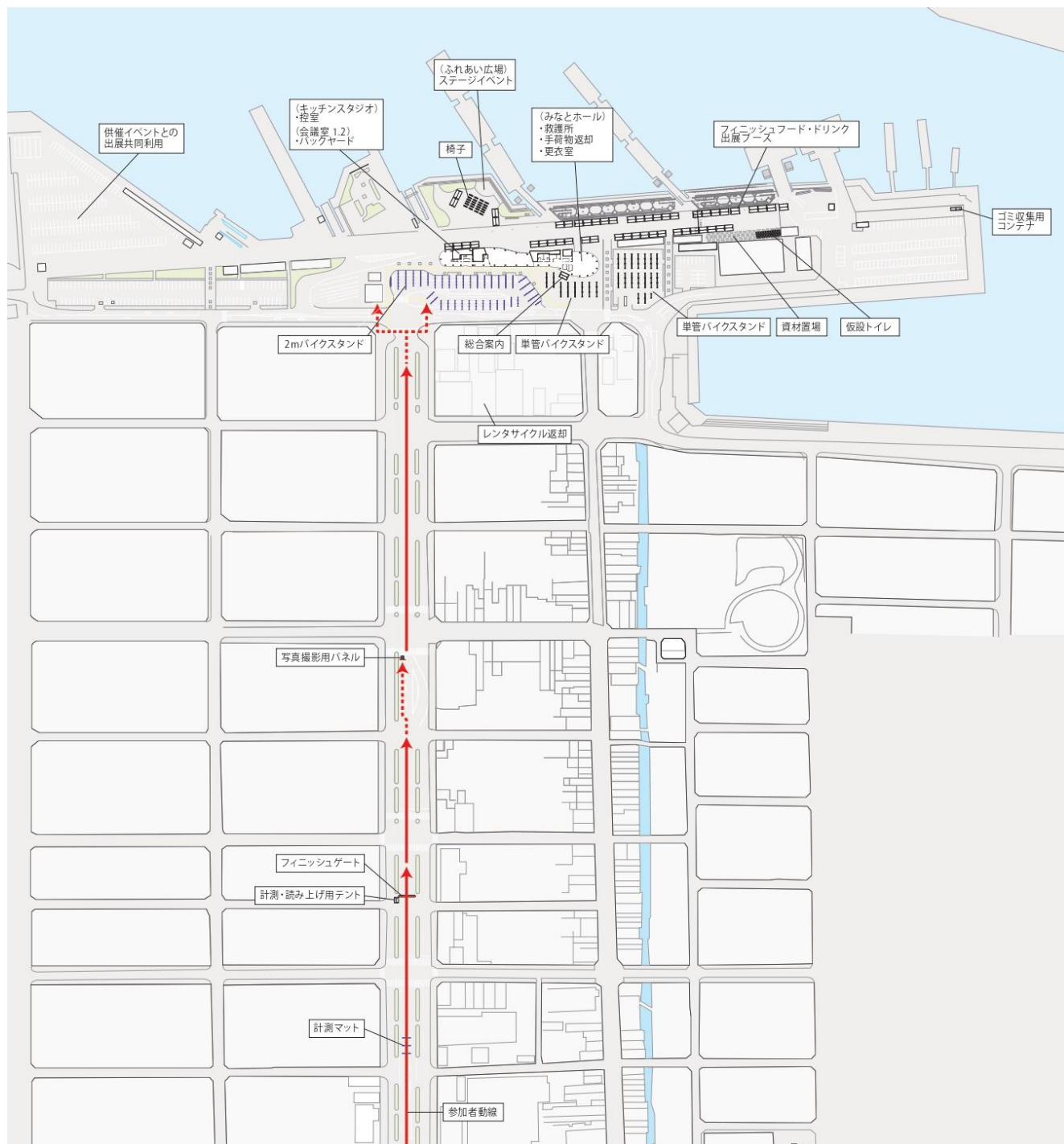
■尾道フィニッシュ会場(向島運動公園)



■上島フィニッシュ会場(弓削港)



■今治フィニッシュ会場(広小路・今治港)



8.1 高速道路本線の安全対策

- ①高速道路本線では、参加者は上り線を走行し、下り線は緊急車両の走行用として確保する。
- ②本線上に固定監察員を配置基準に基づき配置するとともに、走行中は、移動監察員による走行者の管理を行う。
- ③自転車が走行する上で問題等が予見される注意すべき区間や箇所については、前回大会までの実績や検証結果を踏まえた管理方法を個別に設定する。

■重点対策ポイント

a) 壁高欄等 b) 中央分離帯 c) 橋梁伸縮部 d) 分岐 e) トンネル f) IC料金所、ランプ g) 排水溝

※資材や監察員の具体的な配置場所については、現地調査や道路管理者・県警等の意見を踏まえて決定する。

- ④上記の外、次に掲げる対策により、参加者の安全走行を確保する。
 - ・脚力を揃えた梯団の形成、脚力のある梯団から先行して出走、時間差スタートによる梯団間隔の確保等による参加者の分散や危険な追越しの回避
 - ・参加者の体調不良や自転車トラブルに対応するための緊急時立ち寄り所の設置

(1)重点対策ポイント

a) 壁高欄(かべこうらん)等

自転車に対する転落防止機能が十分でなく、路外との高低差が大きな区間

予見される問題点等	対策
<ul style="list-style-type: none"> ○ 走行中の参加者が、他の参加者や資材との接触、運転誤操作等により路外へ転落するケース ○ 停止した参加者が、路外を覗きこんだり、ふらつき等により路外へ転落するケース 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 路肩側に固定監察員・資材を配置し、中央寄りの走行を促す。 ○ 追突等の事故に備えて、固定監察員が参加者の走行状況を監察し、危険な状況時にはサイン・声掛け等で注意喚起する。 ○ 参加者への安全走行の意識付けとして、参加案内冊子やスタート前の注意事項の説明等で本線上での白線内走行を周知するほか、危険走行の参加者には移動監察員が注意する。

b) 中央分離帯

中央分離帯のカラーポール間にコンクリートブロックがない区間

予見される問題点等	対策
<ul style="list-style-type: none"> ○ 下り車線を緊急車両通行レーンと認識していない参加者が、意図せず下り車線へはみ出し又は走行するケース ○ 参加者のふくらみ等により、後続者が追い越しのため下り車線を走行するケース 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上り車線を走行するよう、参加案内冊子等による周知徹底 スタート前の注意事項の説明等で下り線侵入禁止を注意喚起するほか、危険走行の参加者には移動監察員が注意する。 ○ コーションテープによる侵入抑制 ・使用IC～本線間の流入・流出区間、合流区間など参加者のふくらみ(追い越し)が予見される区間 ○ 緊急車両走行時(平常時含む)の対策 ・固定監察員が、サイン・声掛け等で、反対車線に侵入しないよう注意喚起するとともに、緊急車両走行時は路側帯側に寄り走行するよう呼びかけ

c) 橋梁伸縮部

高架橋・海峡架橋において橋梁伸縮装置がある箇所

予見される問題点等	対策
○ 参加者の転倒、自転車の故障 ○ 急制動による後続参加者の追突	○ 前回大会までの実績等を踏まえ、伸縮装置のうち、タイヤの陥落やパンク等の危険・恐れのある形状、装置の表面が鉄製でスリップの恐れのある形状の装置にはマットを敷設 ※マット敷設箇所には、資材の管理及び走行者への注意喚起のため、固定監察員を配置

＜過去大会での実績及び形状一覧＞

種類	① フィンガージョイント	②-1 鋼製ジョイント (鋭利) ②-2 シーベックジョイント	③ ローリンググリップ	④-1 STジョイント ④-2 鋼製ジョイント (権形) ④-3 SPジョイント	⑤-1 ガイトップジョイント ⑤-2 スーパーガイトップジョイント	⑥ マウラージョイント	⑦ トランスフレックスジョイント
形状							
材質	エッジ部分 鋼製 上面部分 鋼製	鋼製	鋼製	鋼製	鋼製 セメント	鋼製	鋼製
前回大会での実績	ジョイント部の溝の幅が自転車のタイヤ幅を超えるため、対策を実施	直進走行すれば、自転車のタイヤは陥落しないが、プレ大会(H25)において、参加者から「雨天時にスリップする危険を感じた」との意見が多く寄せられたことから、対策を実施	自転車のタイヤは陥落しないが、プレ大会(H25)において、参加者から「雨天時にスリップする危険を感じた」との意見が多く寄せられたことから、対策を実施	自歩道や一般道にも存在する形状であり、参加者から危険であるとの意見もないため、原則として対策の必要なし 但し、当該ジョイント部の溝の幅が自転車のタイヤ幅を超える場合には、対策を実施	自歩道や一般道にも存在する形状であり、参加者から危険であるとの意見もないため、対策の必要なし	自歩道や一般道にも存在する形状であり、参加者から危険であるとの意見もないため、対策の必要なし	
マット敷設対策の有無	○	○	○	△	△	×	×

d) 分岐

ICの流入・流出区間、BSやPAの進入・退出区間

予見される問題点等	対策
○ 参加者のコース誤り ○ 参加者間の接触	○ 分岐手前に固定監察員を配置し、声掛けをするほか、コース別に色分けした看板等により、視覚的に参加者を誘導する。 ○ 監察員と参加者が、ともにコースを認識できるよう、コース別に色分けしたゼッケンや自転車ゼッケンを参加者と自転車へ取り付ける。 ○ 誤走を防ぐため、分岐通過後にも固定監察員を配置

e) トンネル

本線上に5か所

- ・今治IC～今治北IC
- ・今治北IC～大島南IC
- ・大島北IC～伯方島IC
- ・生口島南IC～生口島北IC
- ・生口島南IC～生口島北IC

- 近見山トンネル(L=1,140m) ※非常駐車帯あり
- 吉海トンネル(L=360m)
- 宮窪トンネル(L=1,420m) ※非常駐車帯あり
- 瀬戸田トンネル(L=717m)
- 洲江トンネル(L=447m)

予見される問題点等	対策
○ トンネル内の視界不良による参加者間での追突・接触・転倒 ○ トンネル出入口の環境変化による操作誤り	○ トンネル内の照明を全灯にし、見通しを確保(道路管理者へ依頼) ○ 非常駐車帯にパイロンを設置し、直進誘導 ○ 参加者の自転車に前照灯と尾灯又は反射板の装着を必須とする ○ トンネル入口に固定監察員を配置し、点灯を呼びかけ

f) IC料金所、ランプ

	予見される問題点等	対策
料金所	<ul style="list-style-type: none"> ○ 向島IC、今治ICにおけるスタート直後の接触及び転倒 ○ 一般道流出地点の交差点の混雑・混乱 ○ 料金所精密機器への接触による負傷・損傷 	<ul style="list-style-type: none"> ○ C D E F G は250名ずつ4分間隔、H は30～40名ずつ1分間隔でスタート ※後続コースとの混雑が懸念される A B コースは5分間隔 ○ 料金所手前にパイロン及び看板を設置するほか、固定監察員が、参加者を誘導・整理 ○ 料金所精密機器類の養生(料金所精密機器前にマット付フェンス及びパイロンを設置)
ランプ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 下り勾配での速度超過による前方参加者との接触 ○ 屈曲線形での操作誤りによる転倒 ○ ガードレール接触による負傷 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 下り勾配手前に減速喚起のための固定監察員を配置 ○ 転倒や追突の防止及び施設の養生等

<IC等通過人数一覧>

場 所	進 入	退 出
向島IC	1,500人(A B コース)	
因島北IC		
因島南IC		1,500人(D E コース)
生口島北IC		
生口島南IC		500人(G コース)
生口島南IC手前管理道		250人(B コース)
大三島IC		3,750人(A C F コース)
伯方島IC		
大島北IC		
大島BS		1,000人(H コース)
大島南IC		
来島海峡SA	1,000人(H コース)	
今治北IC		
今治IC	4,500人(C D E F G コース)	

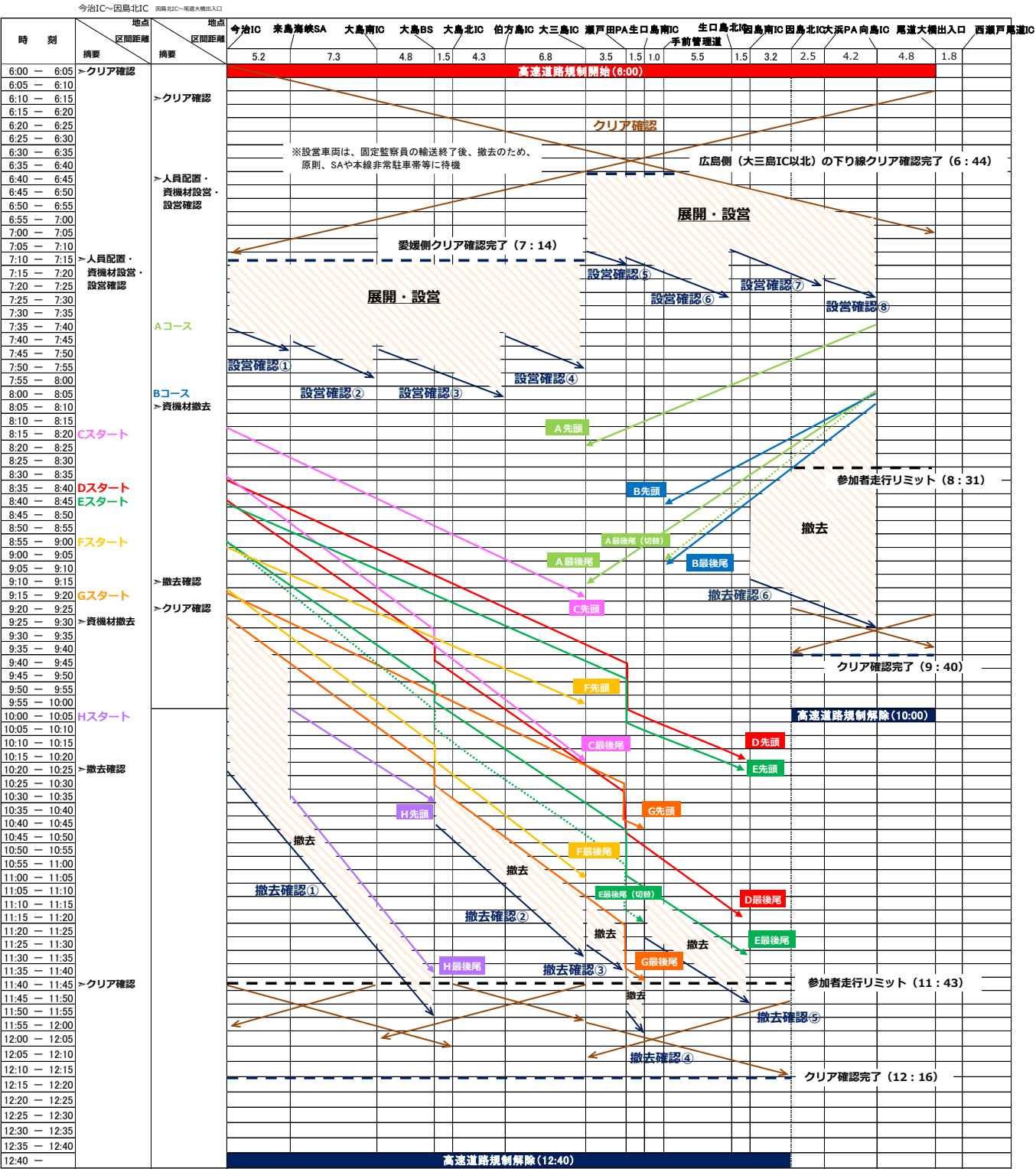
※その他、Aコース選走参加者は生口島南IC手前管理道で、Eコース選走参加者は生口島南ICで切替の可能性あり

g) 排水溝

路肩に側溝がある区間(白線の外側、切土部及びガードレール前面部)

予見される問題点等	対 策
○ 操作誤り等による落下、転倒	○ 注意喚起を要する区間では、排水溝の前に矢印板を設置

(2)高速道路本線スケジュール



※所定の時刻以降に生口島南IC手前管理道に到着したAコース参加者(点線)は、当管理道から高速を退出して、一般道を走行する。
※所定の時刻以降に生口島南ICに到着したEコース参加者(点線)は、当ICから高速を退出し、一般道を走行する。

(3)業務内容

区 分	業務内容	担 当	備 考
クリア確認	規制開始後、西瀬戸自動車道本線を上下線双方から走行し、残存する一般車両をクリアにする。 IC、SA、PA及びランプウェイについては、広島・愛媛両県警により個別対応する。	クリア確認班 ○ 大会事務局 ○ 本四高速株式会社 ○ 広島・愛媛両県警	
資材設営	<u>上下線ともにクリアが確認され次第、各待機場所から本線に進入の上、設営ポイントまで移動し、安全対策資材を設置するとともに、固定監察員を配置する。</u>	固定監察班 ○ 行政職員ほか	
設営確認	固定監察員及び安全対策資材の設置状況について、上り線を尾道方面へ走行しながら、目視により確認する。 ICについては、個別で確認する。	設営・撤去確認班 ○ 本四高速株式会社 ※行政職員が本四高速車両に同乗し確認	確認後は、 本線上又はIC等、 所定の場所で待機
走行者監察	参加者の安全走行を監察する。 危険走行・違反行為等に対する注意喚起や正しいコースへの誘導等を行う。	固定監察班 ○ 行政職員ほか	
最後尾收容	走行不能になった参加者や走行に遅れが見られる参加者を收容する。	收容班 ○ 行政職員ほか	大型バスと トラックで編成
資材撤去	收容班通過後、安全対策資材の撤去、施設の原形復旧・清掃を行った上で、スタッフ輸送バスで本線から退出する。	固定監察班 ○ 行政職員ほか	
撤去確認	全ての安全対策資材、固定監察員の撤収、施設の原形復旧が完了しているかどうかを確認する。 ICについては、個別で確認する。	設営・撤去確認班 ○ 本四高速株式会社 ※行政職員が本四高速車両に同乗し確認	
クリア確認	撤去確認後、広島・愛媛両県警により、規制解除前のクリア確認が行われる。	○ 広島・愛媛両県警	

(4)安全対策区間図



8.2 一般道路の安全対策

過去の大会で実施した安全対策に、関係機関・参加者等から寄せられた意見とそれに対する改善策を加え、より効果的な対策に取り組む。

(1) 重点対策ポイント

項 目	内 容
① スタート地点周辺	<ul style="list-style-type: none"> ● 高速本線の交通規制及び参加者の動線・スタート地点までの参集を考慮のうえ、固定監察員、警備員の配置等について検討する。 ● 今治IC及び向島IC周辺は、周辺一般道の交通規制を関係機関と協議する。その際、規制ポイントに配置した固定監察員や警備員は、速やかに規制物資・安全対策物資の設置及び撤去、参加者の円滑な誘導を行うなどし、交通規制時間を厳守する。
② IC流出先	<ul style="list-style-type: none"> ● 各ICの流出先は信号交差点となっており、信号待ちの滞留が生じることとなるので、滞留状況や時間帯を考慮のうえ、信号操作等の対応について関係機関と協議する。必要に応じて、後続参加者に対する停車指示と前方の右左折案内を行う。 ● 一般道に流出後は、左側一列走行となるよう誘導する。
③ 下り勾配区間	<ul style="list-style-type: none"> ● 急勾配の下り区間では、過度な速度により自転車のコントロールを失う危険が高まるため、区間の手前から看板等を配置し、参加者に「減速」の注意喚起を行う。 ● カーブを有し、見通しが悪いポイントでは、下る速度を考慮してカーブのかなり手前から「減速」看板と固定監察員を手厚く配置し、参加者に強く注意喚起する。
④ 上り勾配区間	<ul style="list-style-type: none"> ● 急勾配の上り区間では、著しく速度が低下した参加者に後続参加者が追突する危険性があるほか、疲労が蓄積している場合には失速し転倒するおそれもあるため、著しく速度が低下した参加者に対しては、「左側に寄って走行する」よう誘導する。また、後続参加者に対しては、無理な追い越しをしないよう注意喚起する。
⑤ 見通しの悪いカーブ	<ul style="list-style-type: none"> ● 急カーブ、または建造物等の影響で見通しの悪いカーブでは、手前に看板や固定監察員を配置し、「減速」の注意喚起を行うとともに、「追い越し禁止」の注意喚起も行う。 ● 参加者と一般車両との安全な離合が困難な場合には、カーブ両側に固定監察員を配置し、交通誘導を行う。
⑥ 幅員減少地点	<ul style="list-style-type: none"> ● 急に幅員が減少する箇所では、狭い道幅での一般車両との離合が発生するため、事前に看板を配置し、参加者に注意を喚起する。見通しが悪いカーブ等がある場合は、固定監察員を配置し、手厚い注意喚起を行う。 ● 参加者と一般車両との安全な離合が困難な場合には、その両側に固定監察員を配置し、交通誘導を行う。
⑦ 二段階右折交差点	<ul style="list-style-type: none"> ● 対象交差点の手前に看板と固定監察員を配置し、この先の交差点が二段階右折であることを参加者に周知する。 ● 二段階右折待ちの滞留が一般交通の支障にならないような誘導方法を検討する。
⑧ 駐車場からスタート地点、フィニッシュ地点から駐車場までの区間	<ul style="list-style-type: none"> ● 参加者を円滑に誘導するため、要所に看板と固定監察員を配置する。

(2)各橋梁上の自歩道安全対策

橋梁名 (自歩道通過台数)	区間	現状及び問題点	安全対策(案)
因島大橋 (上り1,750台 下り500台)	大浜町(因島)～因島大橋 (取付道路上り)	<ul style="list-style-type: none"> ・原付と共用 ・幅員3.0m、中央線あり ・急カーブで見通し不良の箇所あり (カーブミラー設置箇所あり) ・取付道路出入口とその前の一般道は 傾斜が強い上り坂 	<ul style="list-style-type: none"> ・取付道路入口部分、急カーブ区間への人員配置、 注意喚起看板の設置
	因島大橋 (橋梁上)	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車・原付道(2.5m)と歩道(1.5m)を 縁石で分離 ・自転車・原付道に中央線なし ・立花(向島)側に 見通しの悪い直角カーブあり ・大浜町(因島)側に料金箱あり 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車・原付道へのラインテープ貼付による仮設 中央線の設定 ・直角カーブ手前、料金箱付近に人員配置、 注意喚起看板の設置 ・原付の料金支払方法の見直しにより料金箱付近での 追突を防止
	因島大橋～立花(向島) (取付道路下り)	<ul style="list-style-type: none"> ・原付と共用 ・幅員3.0m、中央線あり ・急カーブで見通し不良の箇所あり 	<ul style="list-style-type: none"> ・取付道路入口部分、急カーブ区間への人員配置、 注意喚起看板の設置
生口橋 (下り500台)	田熊町(因島)～生口橋 (取付道路上り)	<ul style="list-style-type: none"> ・一部原付との共用区間あり ・原付との合流箇所では注意が必要 ・幅員 原付との共用区間4.0m 自転車歩行者道3.0～2.5m ・急カーブで見通し不良箇所あり 	<ul style="list-style-type: none"> ・原付との合流箇所、急カーブ区間への人員配置、 注意喚起看板の設置
	生口橋 (橋梁上)	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者・自転車と原付は別道路 ・幅員2.5m ・生口島側に料金箱あり 	<ul style="list-style-type: none"> ・見通し良好のため人員、看板等不要
	生口橋～因島洲江町(生口 島) (取付道路下り)	<ul style="list-style-type: none"> ・一部原付との共用区間あり ・原付との合流箇所では注意が必要 ・幅員 原付との共用区間4.0m 自転車歩行者道3.0～2.5m ・急カーブで見通し不良箇所あり 	<ul style="list-style-type: none"> ・原付との合流箇所、急カーブ区間への人員配置、 注意喚起看板の設置
多々羅大橋 (下り500台)	垂水(生口島)～多々羅大橋 (取付道路上り)	<ul style="list-style-type: none"> ・一部に歩行者、原付と共用区間あり ・3者共用区間は幅員3.6m、中央線あり ・横道(作業道)との交差箇所にポールあり ・自転車歩行者道の幅員2.7m、中央線なし ・原付道との合流箇所では注意が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・原付との合流箇所に人員を配置し、注意喚起 及び交通整理を実施
	多々羅大橋 (橋梁上)	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者・自転車と原付は別道路 ・幅員2.5m ・橋脚部分では屈曲し、見通し不良 ・広島県側に料金箱あり 	<ul style="list-style-type: none"> ・屈曲部への人員配置及び注意喚起看板等の 設置
	多々羅大橋～井口(大三島) (取付道路下り)	<ul style="list-style-type: none"> ・一部原付との共用区間あり ・原付との合流箇所では注意が必要 (原付道側に一時停止規制あり) ・一般道との交差箇所あり (自歩道側に一時停止規制あり) ・幅員 原付との共用区間4.0m 自転車歩行者道3.0～2.5m ・急カーブで見通し不良箇所あり 	<ul style="list-style-type: none"> ・原付との合流箇所、一般道との交差箇所への 人員配置、注意喚起看板の設置

橋梁名 (自歩道通過台数)	区 間	現状及び問題点	安全対策(案)
大三島橋 (下り4,250台)	瀬戸(大三島)～大三島橋 (取付道路上り)	<ul style="list-style-type: none"> ・原付と共用 ・幅員3.0m ・取付道路が鋭角交差しており見通し不良 	・急カーブ区間への人員配置、注意喚起看板の設置
	大三島橋 (橋梁上)	<ul style="list-style-type: none"> ・原付と共用 ・幅員4.0m 歩行者1.5m、自転車・原付2.5m幅で区分する区画線あり ・料金箱あり 	・料金箱付近への人員配置
	大三島橋～伊方(伯方島) (取付道路下り)	<ul style="list-style-type: none"> ・原付と共用 ・幅員4.0m ・急カーブで見通し不良箇所あり 	・急カーブ区間への人員配置、注意喚起看板の設置
伯方・大島大橋 (下り4,250台)	叶浦(伯方島)～伯方・大島大橋 (取付道路上り)	<ul style="list-style-type: none"> ・一部原付との共用区間あり ・原付との合流箇所では注意が必要 ・幅員 原付との共用区間4.0m 自転車歩行者道3.0m ・急カーブで見通し不良箇所あり 	・原付との合流箇所、急カーブ区間への人員配置、注意喚起看板の設置
	伯方・大島大橋 (橋梁上)	<ul style="list-style-type: none"> ・原付と共用 ・幅員4.0m 歩行者1.5m、自転車・原付2.5m幅で区分する区画線あり ・大島側に料金箱あり 	・料金箱付近への人員配置
	伯方・大島大橋～余所国(大島) (取付道路下り)	<ul style="list-style-type: none"> ・一部原付との共用区間あり ・原付との合流箇所では注意が必要 ・幅員 原付との共用区間4.0m 自転車歩行者道3.0m ・急カーブで見通し不良箇所あり 	・原付との合流箇所、急カーブ区間への人員配置、注意喚起看板の設置
来島海峡大橋 (下り5,250台)	下田水(大島)～来島海峡大橋 (取付道路上り)	<ul style="list-style-type: none"> ・一部原付との共用区間あり ・原付との合流箇所では注意が必要 ・幅員 原付との共用区間4.0m 自転車歩行者道3.0～2.5m ・急カーブで見通し不良箇所あり 	・原付との合流箇所、急カーブ区間への人員配置、注意喚起看板の設置
	来島海峡大橋 (橋梁上)	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者・自転車と原付は別道路 ・幅員2.5m ・橋脚部分では屈曲し、見通し不良 ・馬島に料金箱あり ・橋梁接続部に段差あり 	・屈曲部・料金箱への人員配置、注意喚起看板等の設置
	来島海峡大橋～糸山 (今治陸地部) (取付道路下り)	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者・自転車と原付は別道路 ・出口で原付と合流時、注意が必要 ・幅員2.5m カーブであるが見通しは良好 	・出口付近の合流部への人員配置、注意喚起看板、減速を促す看板等の設置